
Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<回答者の属性別件数>

【中学生】

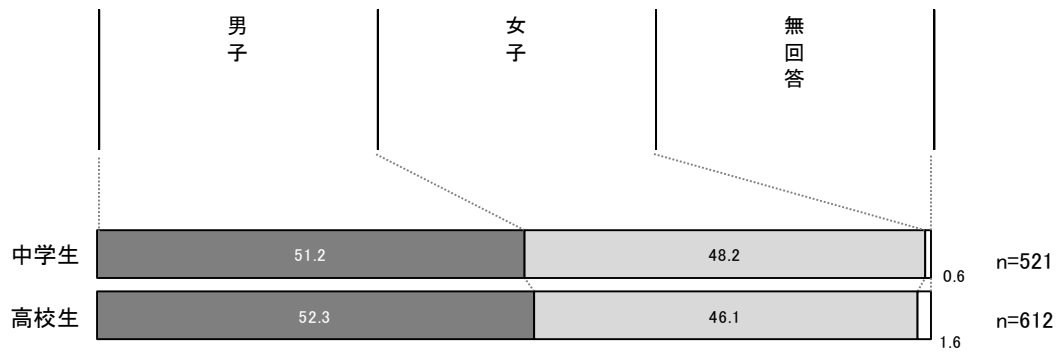
性別	男子	女子	無回答
n=521	267	251	3

【高校生】

性別	男子	女子	無回答
n=612	320	282	10

1 回答者の属性

<性別>

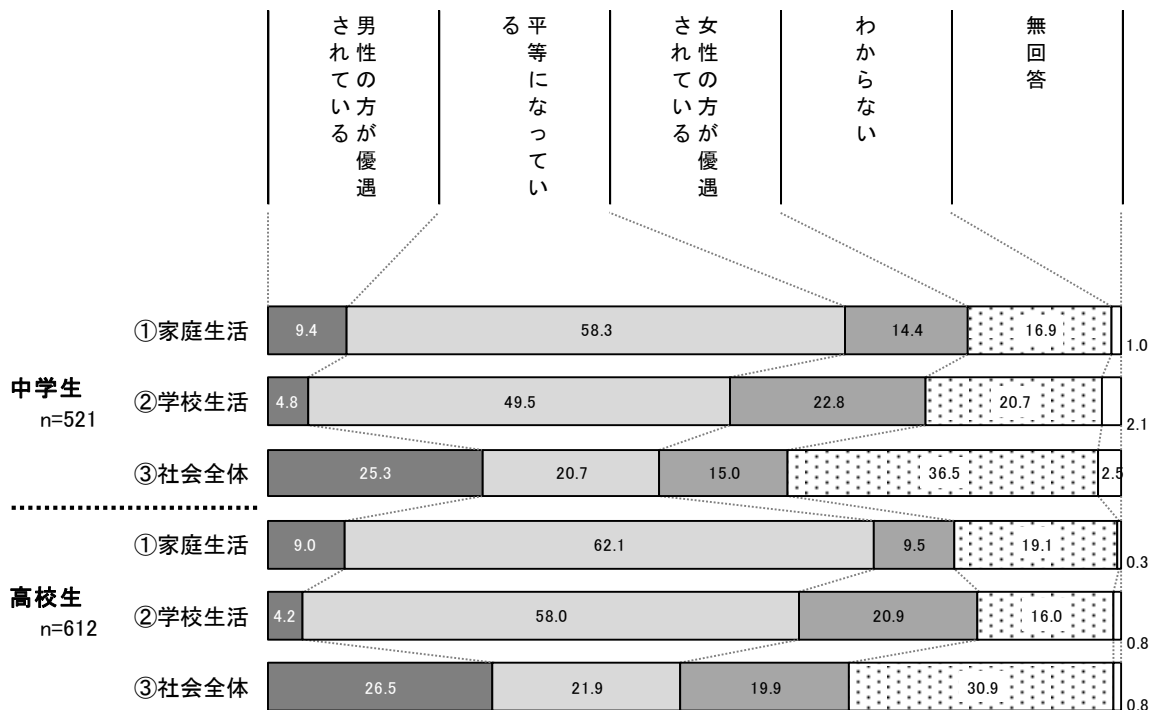


2 男女平等について

2-1 家庭・学校・社会における男女の平等

問2 あなたは、現在、生活の中で男女は平等になっていると思いますか。次の①から③の分野についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆「平等になっている」は中学生は「家庭生活」で約6割、「学校生活」で約5割、高校生は「家庭生活」で6割強、「学校生活」で6割弱



【全体】(①~③)

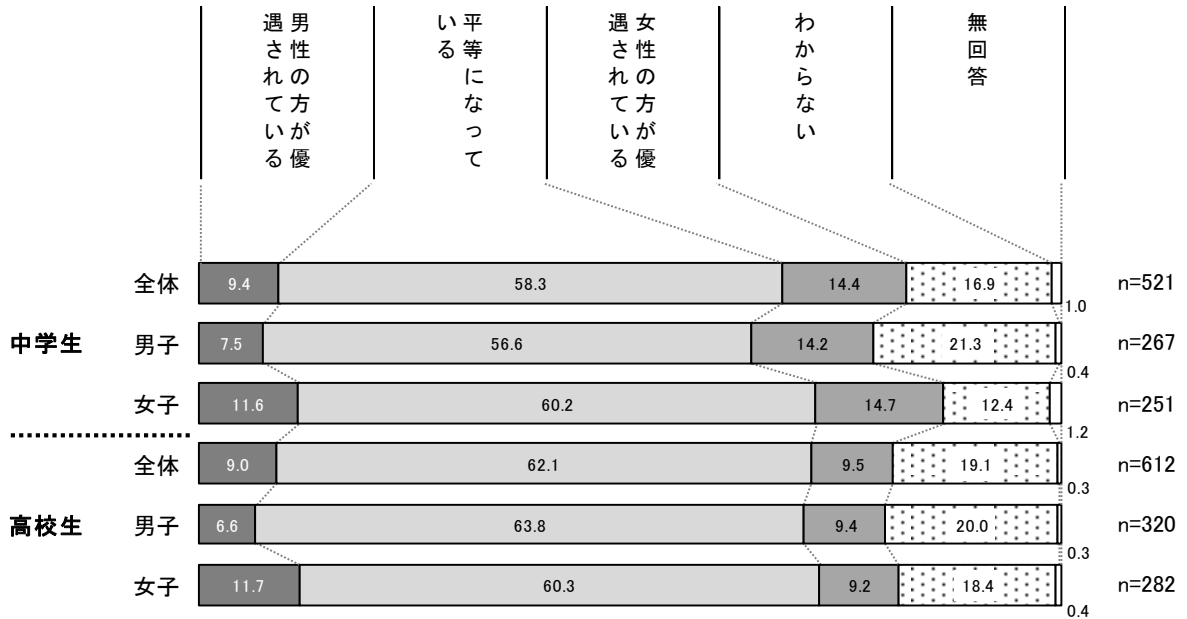
「男性の方が優遇されている」と答えた生徒は、中学生・高校生ともに、「社会全体」が約25%となっています。

「女性の方が優遇されている」と答えた生徒は、中学生は「学校生活」(22.8%)、高校生は「学校生活」(20.9%)、「社会全体」(19.9%)が約20%となっています。

中学生・高校生ともに、「学校生活」は「女性の方が優遇されている」が「男性の方が優遇されている」より高く、「社会全体」は「男性の方が優遇されている」が「女性の方が優遇されている」より高くなっています。

<①家庭生活>

◆「平等になっている」は中学生で6割弱、高校生で6割強



【中学生】

「平等になっている」は58.3%、「女性の方が優遇されている」は14.4%となっています。性別でみると、女子は「男性の方が優遇されている」(11.6%)が男子(7.5%)より若干高くなっています。

【高校生】

「平等になっている」は62.1%、「女性の方が優遇されている」は9.5%となっています。性別でみると、女子は「男性の方が優遇されている」(11.7%)が男子(6.6%)より5.1ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「女性の方が優遇されている」(14.4%)が高校生(9.5%)より若干高くなっています。

【一般市民との比較】(家庭・学校・社会における男女の平等：①家庭生活)

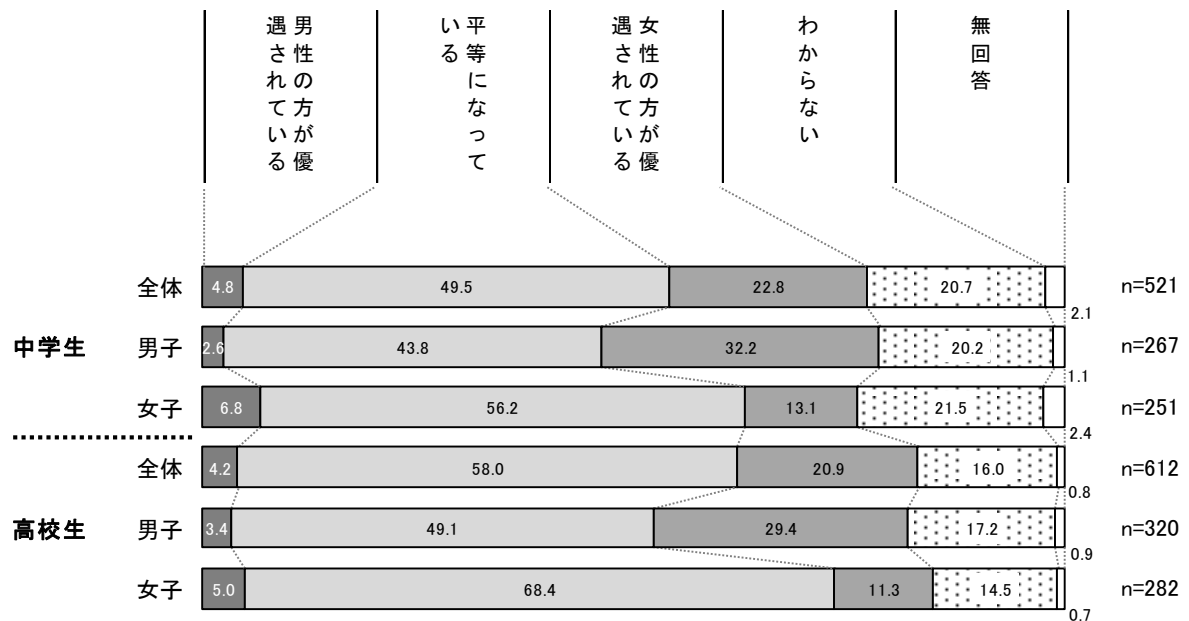
中学生・高校生は「平等になっている」が約6割で、一般市民は3割弱となっています。一般市民は『男性優遇』が5割以上で、中学生・高校生は1割未満となっています。

	中学生	高校生	一般市民
『男性優遇』	9.4	9.0	54.6
平等になっている、平等である	58.3	62.1	29.0
『女性優遇』	14.4	9.5	8.7
わからない	16.9	19.1	6.0

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<②学校生活>

- ◆「平等になっている」は中学生で約5割、高校生で6割弱
- ◆中学生・高校生の男子で「女性の方が優遇されている」が約3割



【中学生】

「平等になっている」は49.5%、「女性の方が優遇されている」は22.8%となっています。性別でみると、男子は「女性の方が優遇されている」(32.2%)が女子(13.1%)より19.1ポイント高くなっています。

【高校生】

「平等になっている」は58.0%、「女性の方が優遇されている」は20.9%となっています。性別でみると、男子は「女性の方が優遇されている」(29.4%)が女子(11.3%)より18.1ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は「平等になっている」(58.0%)が中学生(49.5%)より8.5ポイント高くなっています。

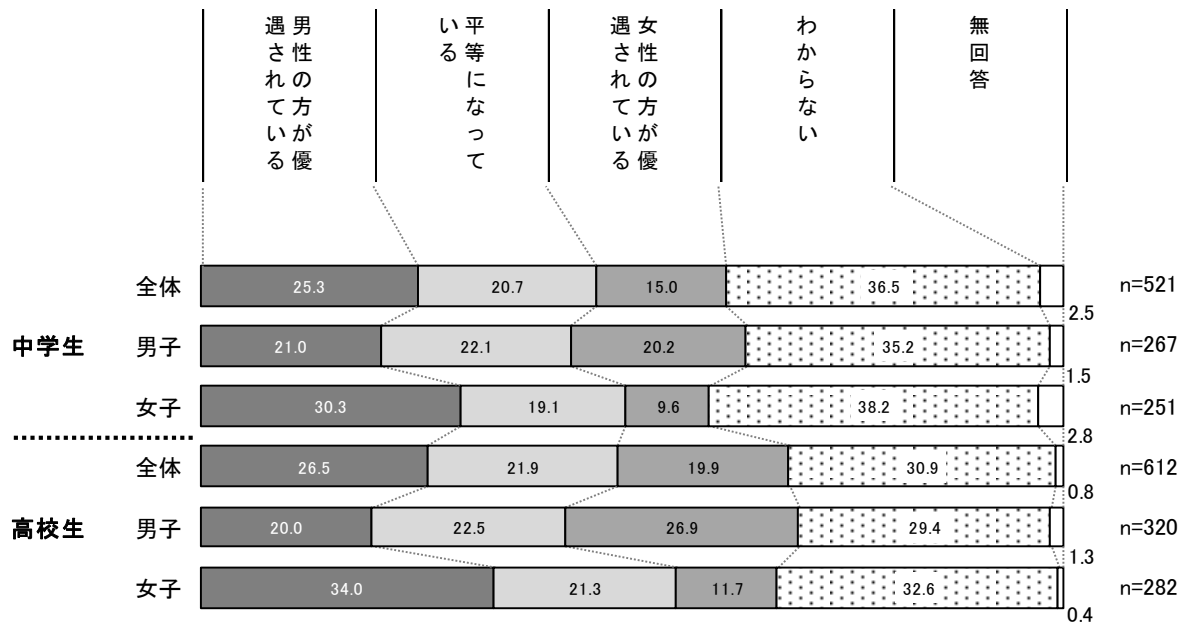
【一般市民との比較】(家庭・学校・社会における男女の平等：②学校生活)

中学生・高校生は『女性優遇』が約2割で、一般市民は1割未満となっています。一般市民は『男性優遇』が1割以上で、中学生・高校生は1割未満となっています。

	中学生	高校生	一般市民
『男性優遇』	4.8	4.2	14.0
平等になっている、平等である	49.5	58.0	60.5
『女性優遇』	22.8	20.9	3.8
わからない	20.7	16.0	19.2

<③社会全体>

◆中学生・高校生ともに「男性の方が優遇されている」が「平等になっている」を上回っている



【中学生】

「男性の方が優遇されている」が25.3%、「平等になっている」が20.7%となっています。性別でみると、女子は「男性の方が優遇されている」(30.3%)が男子(21.0%)より9.3ポイント高くなっています。

【高校生】

「男性の方が優遇されている」が26.5%、「平等になっている」が21.9%となっています。性別でみると、男子は「女性の方が優遇されている」(26.9%)が女子(11.7%)より15.2ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生の男子は「女性の方が優遇されている」(26.9%)が中学生の男子(20.2%)より6.7ポイント高くなっています。

【一般市民との比較】(家庭・学校・社会における男女の平等：③社会全体)

中学生・高校生は「わからない」が3割以上で、一般市民は1割未満となっています。一般市民は『男性優遇』が7割以上で、中学生・高校生は2割台となっています。

	中学生	高校生	一般市民
『男性優遇』	25.3	26.5	75.2
平等になっている、平等である	20.7	21.9	12.1
『女性優遇』	15.0	19.9	5.3
わからない	36.5	30.9	6.1

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

【前回調査との比較】（家庭・学校・社会における男女の平等）

●「男性の方が優遇されている」の割合

前回調査と比べて、中学生は「社会全体」で若干増加しており、他は若干減少しています。
(%)

		①家庭生活	②学校生活	③社会全体
中学生	平成 28 年	9.4	4.8	25.3
	平成 22 年	13.1	7.0	17.7
	差	-3.7	-2.2	7.6
高校生	平成 28 年	9.0	4.2	26.5
	平成 22 年	13.7	4.4	31.5
	差	-4.7	-0.2	-5.0

●「平等になっている」の割合

中学生は「家庭生活」、「学校生活」で、高校生は「家庭生活」でそれぞれ若干増加しています。

		①家庭生活	②学校生活	③社会全体
中学生	平成 28 年	58.3	49.5	20.7
	平成 22 年	48.8	44.0	25.2
	差	9.5	5.5	-4.5
高校生	平成 28 年	62.1	58.0	21.9
	平成 22 年	56.0	57.4	22.2
	差	6.1	0.6	-0.3

●「女性の方が優遇されている」の割合

中学生は3分野すべてで、高校生は「学校生活」、「社会全体」で増加しています。特に「社会全体」では中学生・高校生ともに約 10 ポイント増加しています。

		①家庭生活	②学校生活	③社会全体
中学生	平成 28 年	14.4	22.8	15.0
	平成 22 年	9.3	13.6	5.2
	差	5.1	9.2	9.8
高校生	平成 28 年	9.5	20.9	19.9
	平成 22 年	9.5	12.9	8.9
	差	0.0	8.0	11.0

3 日常生活について

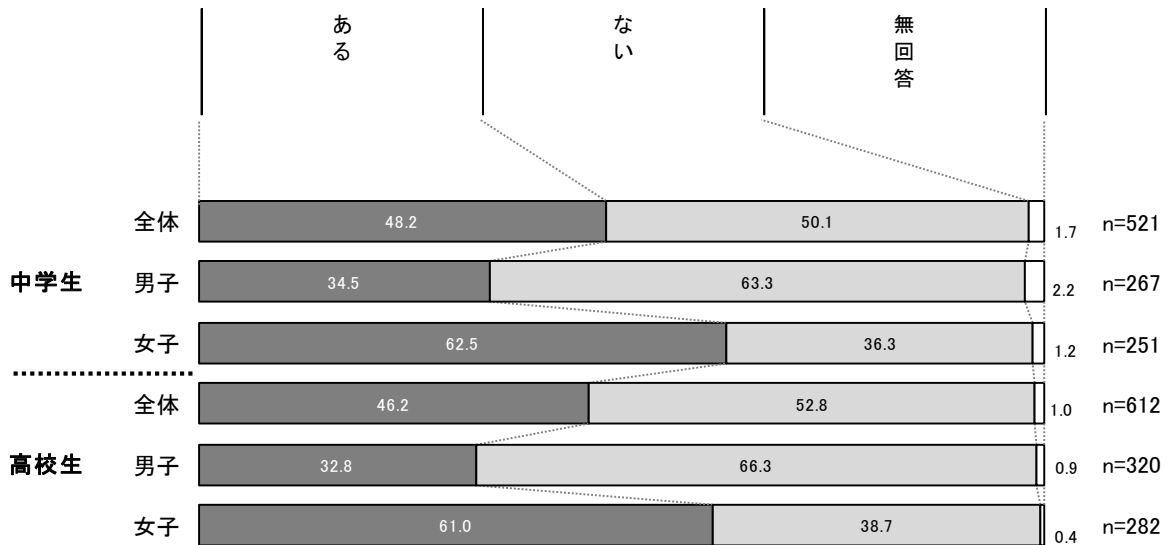
3-1 「女らしくしなさい」「男らしくしなさい」と言われることについて

問3 あなたは今までに、「女らしくしなさい」「男らしくしなさい」と言われたたことがありますか。(1つに○印)

◆言われたことが「ある」は中学生 48.2%、高校生 46.2%

◆中学生・高校生ともに、言われたことが「ある」は女子が6割以上、男子が3割以上

	中学生			高校生		
	平成 28 年	平成 22 年	平成 18 年	平成 28 年	平成 22 年	平成 18 年
ある	48.2%	43.5%	33.5%	46.2%	42.0%	39.2%
ない	50.1%	54.7%	65.8%	52.8%	57.4%	60.2%



【中学生】

「ある」が48.2%、「ない」が50.1%となっています。

性別で見ると、女子は「ある」(62.5%)が「ない」(36.3%)より26.2ポイント高くなっています。男子は「ない」(63.3%)が「ある」(34.5%)より28.8ポイント高くなっています。

【高校生】

「ある」が46.2%、「ない」が52.8%となっています。

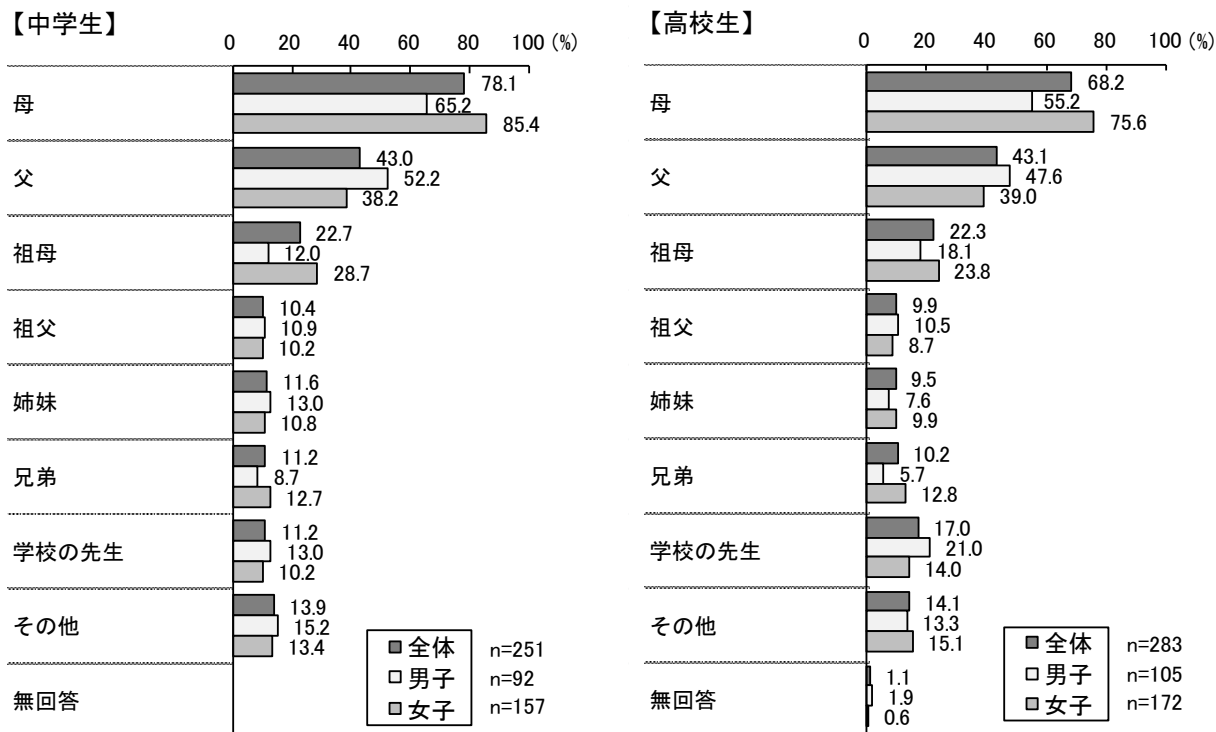
性別で見ると、女子は「ある」(61.0%)が「ない」(38.7%)より22.3ポイント高くなっています。男子は「ない」(66.3%)が「ある」(32.8%)より33.5ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

問3で、「1 ある」と回答した方におたずねします。

問3(1) それは誰に言われましたか。(あてはまるものすべてに○印)

◆「母」が中学生で約8割、高校生で約7割



【中学生】

「母」(78.1%)が最も高く、次いで「父」(43.0%)が高くなっています。

性別でみると、女子は「母」(85.4%)が男子(65.2%)より20.2ポイント高く、男子は「父」(52.2%)が女子(38.2%)より14.0ポイント高くなっています。

【高校生】

「母」(68.2%)が最も高く、次いで「父」(43.1%)が高くなっています。

性別でみると、女子は「母」(75.6%)が男子(55.2%)より20.4ポイント高く、男子は「父」(47.6%)が女子(39.0%)より8.6ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「母」(78.1%)が高校生(68.2%)より9.9ポイント高くなっています。

■「その他」の内訳

中学生

意見(34件)
・ 友人(22件)
・ 塾・習い事の先生(4件)
・ 親戚(3件)
・ その他(5件)

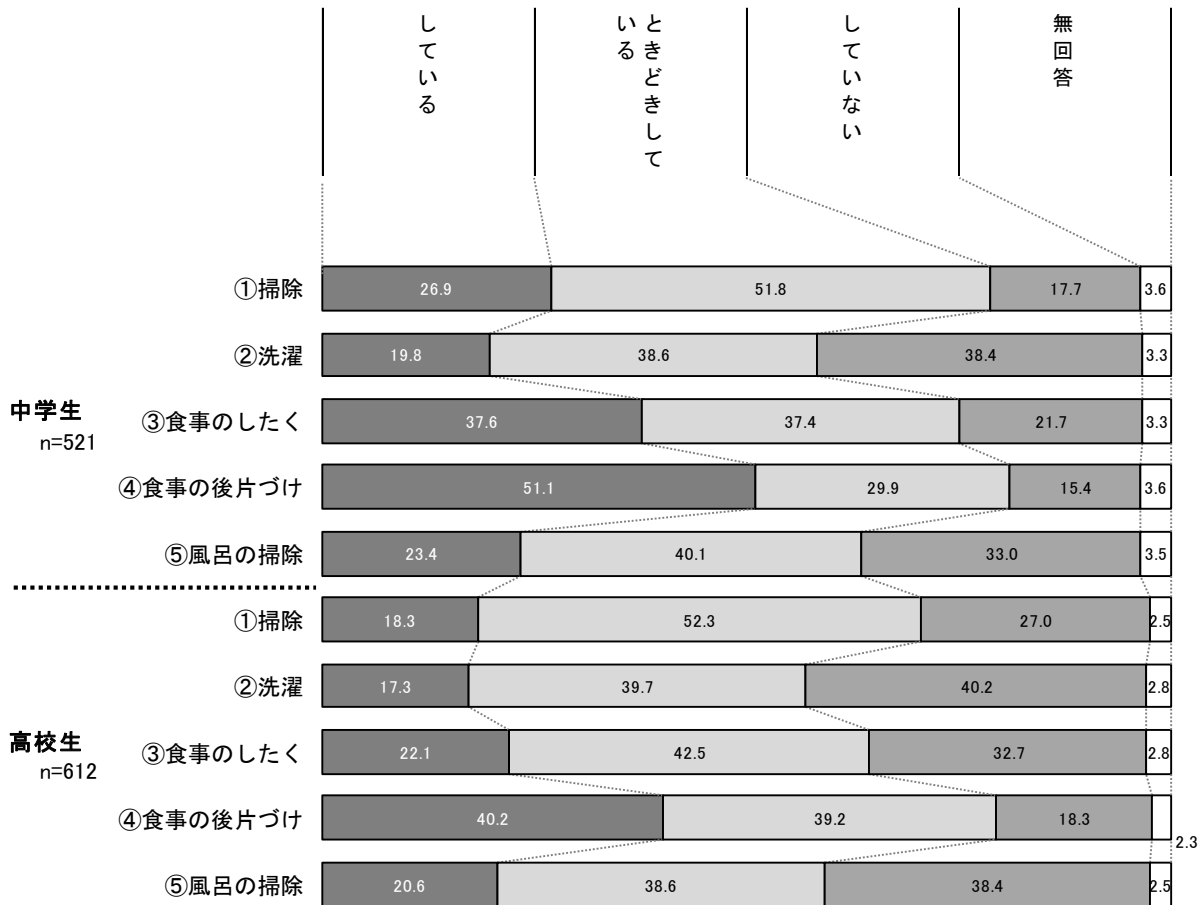
高校生

意見(35件)
・ 友人(31件)
・ 友人の親
・ 部活のコーチ
・ その他(2件)

3-2 家庭内での手伝いの状況

問4 あなたは、次のような手伝いをしていますか。次の①～⑤についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆手伝いを「している」は中学生・高校生ともに「食事の後片づけ」で高い



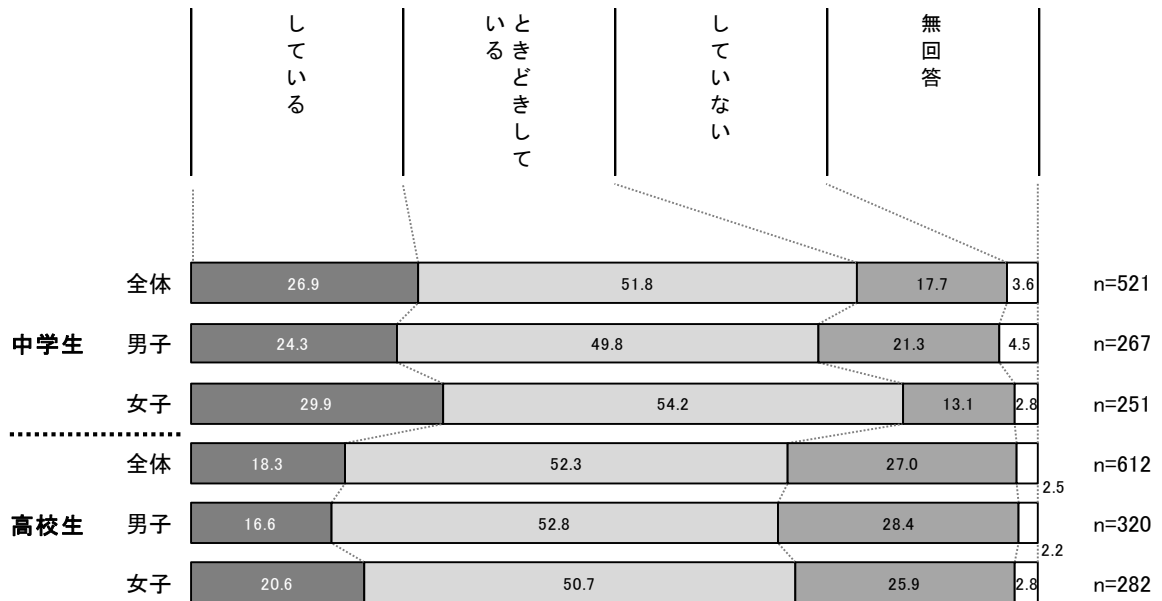
【全体】(①～⑤)

「している」と答えた生徒は、中学生・高校生ともに「食事の後片づけ」(中学生 51.1%、高校生 40.2%)で最も高く、次いで「食事のしたく」で高くなっています。一方、「していない」と答えた生徒は、中学生・高校生ともに「洗濯」(中学生 38.4%、高校生 40.2%)で最も高く、次いで「風呂の掃除」、「食事のしたく」、「掃除」の順で高くなっています。

いずれの項目についても、「している」は中学生より高校生の方が低く、「していない」は中学生より高校生の方が高くなっています。特に「食事のしたく」では中学生(37.6%)と高校生(22.1%)の「している」の差が15.5ポイントと大きくなっています。

<①掃除>

◆掃除を「している」は中学生 26.9%、高校生 18.3%



【中学生】

「ときどきしている」(51.8%)が最も高く、次いで「している」(26.9%)が高くなっています。

性別で見ると、女子は「している」(29.9%)が男子(24.3%)より5.6ポイント高くなっています。

【高校生】

「ときどきしている」(52.3%)が最も高く、次いで「していない」(27.0%)が高くなっています。

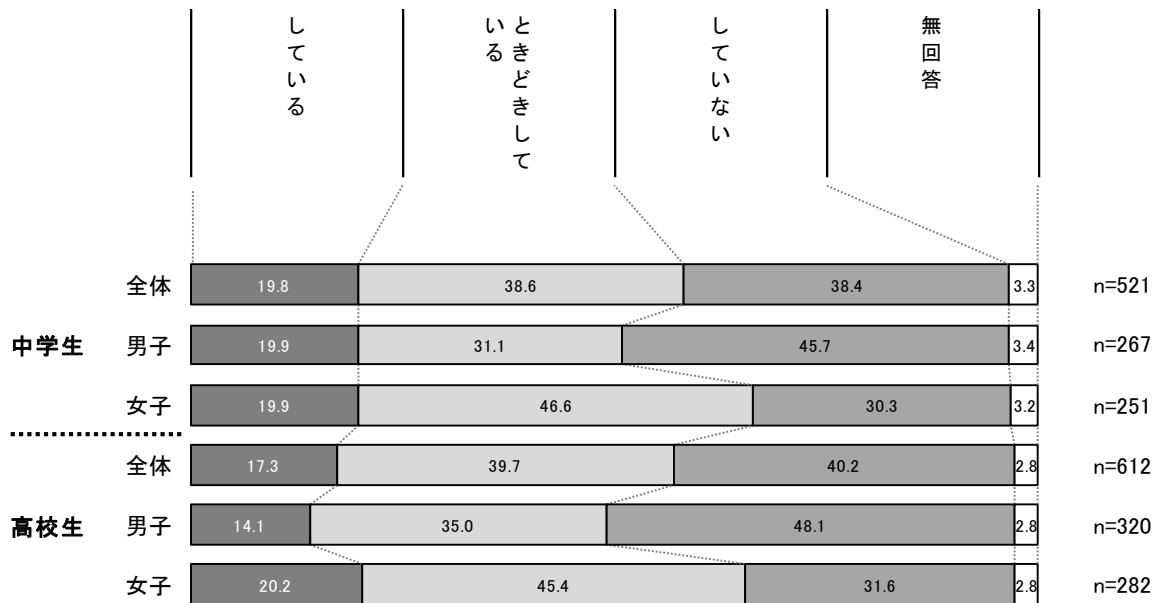
【中学生・高校生別】

高校生は「していない」(27.0%)が中学生(17.7%)より9.3ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<②洗濯>

◆洗濯を「している」は中学生 19.8%、高校生 17.3%



【中学生】

「ときどきしている」(38.6%)、「していない」(38.4%) がともに高くなっています。
性別でみると、女子は「ときどきしている」(46.6%) が男子(31.1%) より 15.5 ポイント高くなっています。

【高校生】

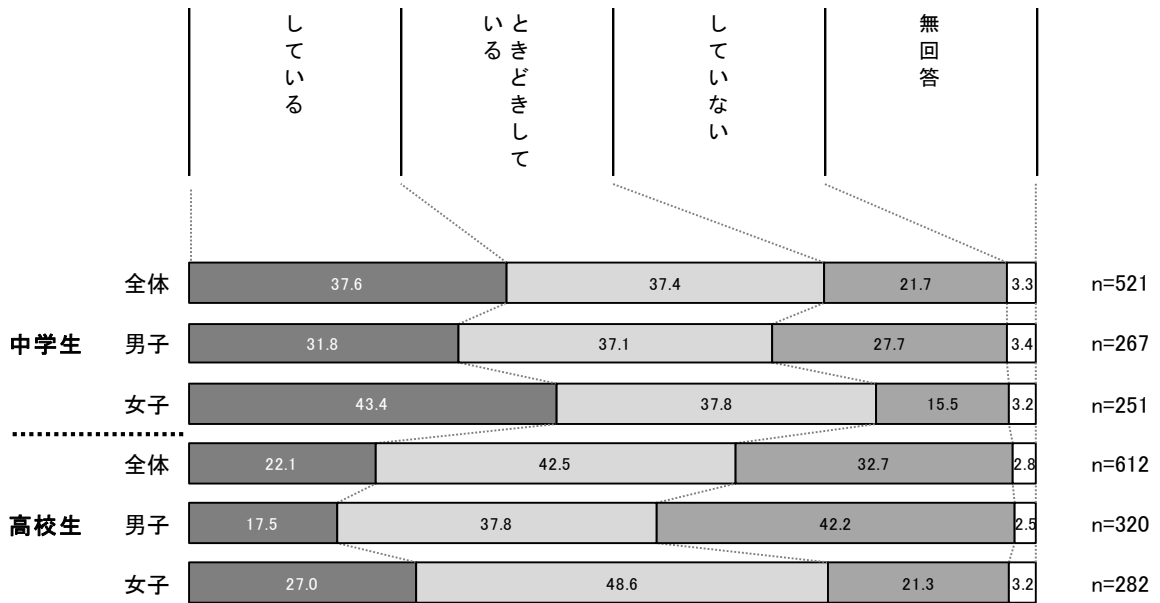
「ときどきしている」(39.7%)、「していない」(40.2%) がともに高くなっています。
性別でみると、女子は「ときどきしている」(45.4%) が男子(35.0%) より 10.4 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生の男子は「している」(19.9%) が高校生の男子(14.1%) より 5.8 ポイント高くなっています。

<③食事のしたく>

◆食事のしたくを「している」は中学生 37.6%、高校生 22.1%



【中学生】

「している」(37.6%)、「ときどきしている」(37.4%) がともに高くなっています。
性別でみると、女子は「している」(43.4%) が男子 (31.8%) より 11.6 ポイント高くなっています。

【高校生】

「ときどきしている」(42.5%) が最も高く、次いで「していない」(32.7%) が高くなっています。
性別でみると、女子は「ときどきしている」(48.6%) が男子 (37.8%) より 10.8 ポイント高く、「している」(27.0%) も男子 (17.5%) より 9.5 ポイント高くなっています。

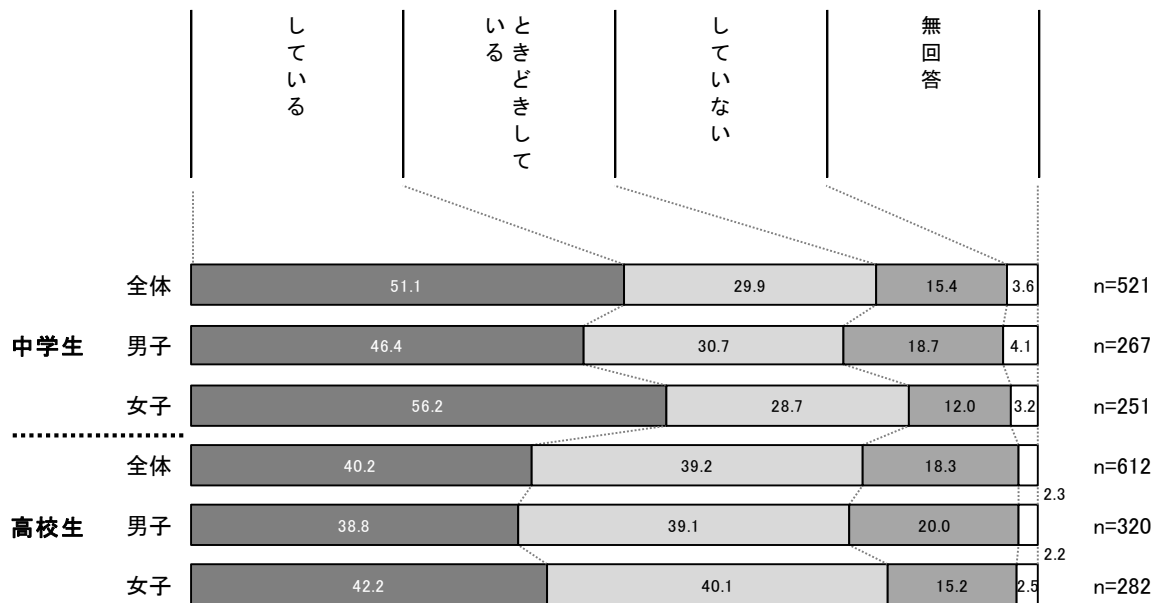
【中学生・高校生別】

高校生は「していない」(32.7%) が中学生 (21.7%) より 11.0 ポイント高く、特に男子 (42.2%) は中学生の男子 (27.7%) より 14.5 ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<④食事の後片づけ>

◆食事の後片づけを「している」は中学生 51.1%、高校生 40.2%



【中学生】

「している」(51.1%) が最も高く、次いで「ときどきしている」(29.9%) が高くなっています。

性別で見ると、女子は「している」(56.2%) が男子(46.4%) より 9.8 ポイント高くなっています。

【高校生】

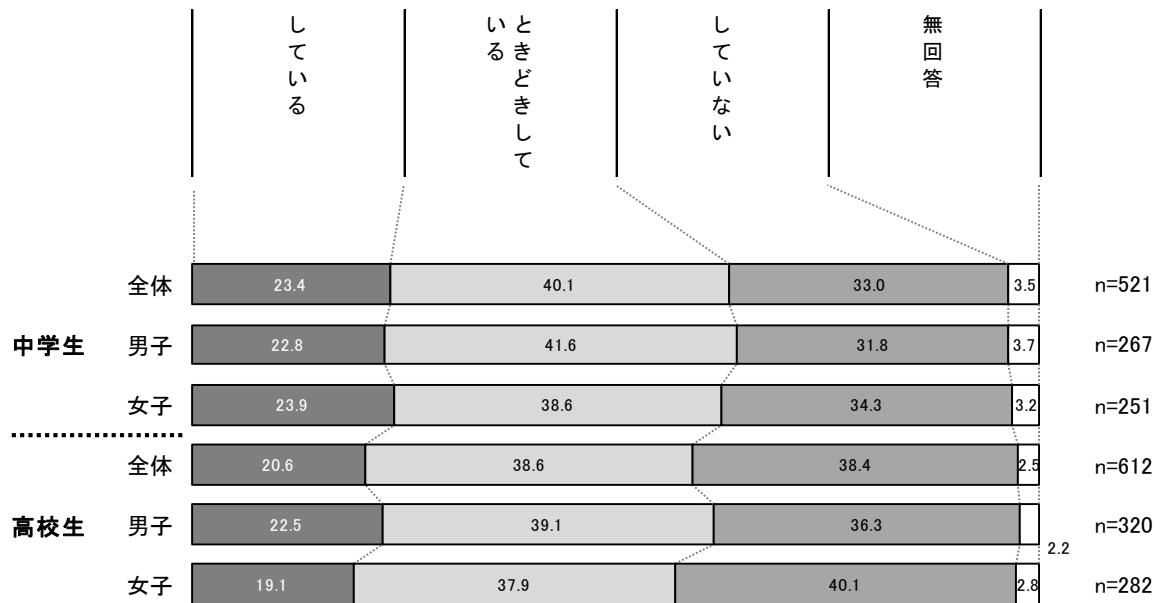
「している」(40.2%) と「ときどきしている」(39.2%) がともに高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「している」(51.1%) が高校生(40.2%) より 10.9 ポイント高く、高校生は「ときどきしている」(39.2%) が中学生(29.9%) より 9.3 ポイント高くなっています。

<⑤風呂の掃除>

◆風呂の掃除を「している」は中学生 23.4%、高校生 20.6%



【中学生】

「ときどきしている」(40.1%) が最も高く、次いで「していない」(33.0%) が高くなっています。

【高校生】

「ときどきしている」(38.6%) と「している」(38.4%) がともに高くなっています。

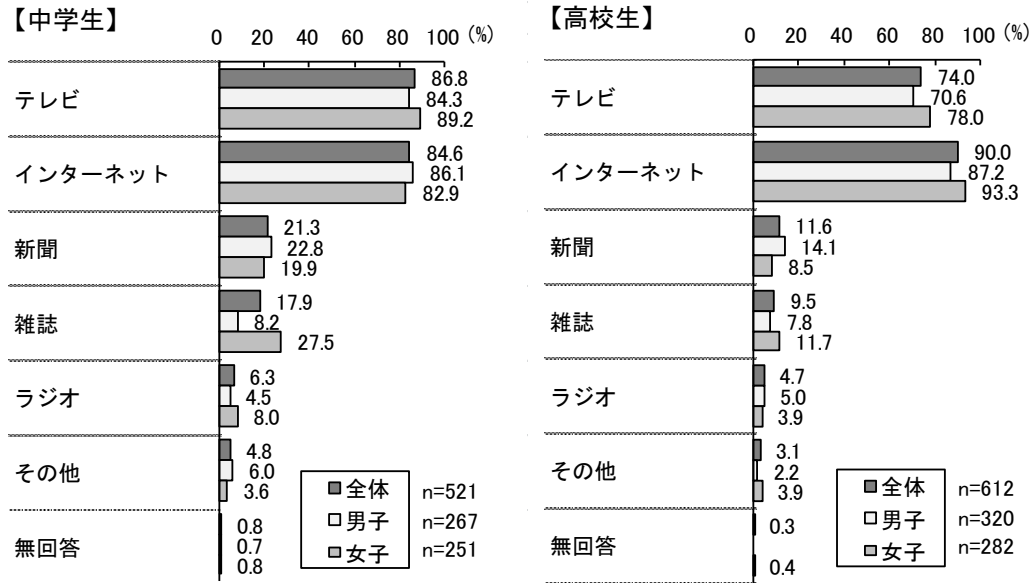
【中学生・高校生別】

高校生は「していない」(38.4%) が中学生(33.0%) より 5.4 ポイント高くなっています。

3-3 情報源としているメディア

問5 次のメディアの中で、あなたが情報を多く得ているのはどれですか。(あてはまるものすべてに○)

◆中学生は「テレビ」「インターネット」が8割強、高校生は「インターネット」が9割で「テレビ」が7割強



【中学生】

「テレビ」(86.8%)、「インターネット」(84.6%) が80%以上と高くなっています。性別で見ると、女子は「雑誌」(27.5%) が男子(8.2%) より 19.3ポイント高くなっています。

【高校生】

「インターネット」(90.0%) が最も高く、次いで「テレビ」(74.0%) が高くなっています。性別で見ると、女子は「インターネット」、「テレビ」が男子より若干高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「テレビ」、「新聞」が高校生より約10ポイント高くなっています。

■「その他」の内訳

中学生

意見(12件)
・ SNS(LINE、twitter など)(6件)
・ スマホ・ケータイ(4件)
・ その他(2件)

高校生

意見(17件)
・ スマホ・ケータイ(14件)
・ SNS(twitter など)(3件)

3-4 日常生活における男女の役割分担について

問6 あなたは、次のような考え方についてどう思いますか。次の①～④についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆「デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」について『概ねそう思わない』は中学生で6割強、高校生で約7割

中学生

	①荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ	②運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい	③女性または男性にしか向いていない職業がある	④デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ
『概ねそう思う』	68.5%	64.1%	75.3%	36.5%
そう思う	29.2%	29.6%	48.0%	12.3%
わりとそう思う	39.3%	34.5%	27.3%	24.2%
『概ねそう思わない』	31.3%	35.7%	24.6%	63.3%
あまりそう思わない	20.2%	25.0%	14.0%	32.2%
そう思わない	11.1%	10.7%	10.6%	31.1%

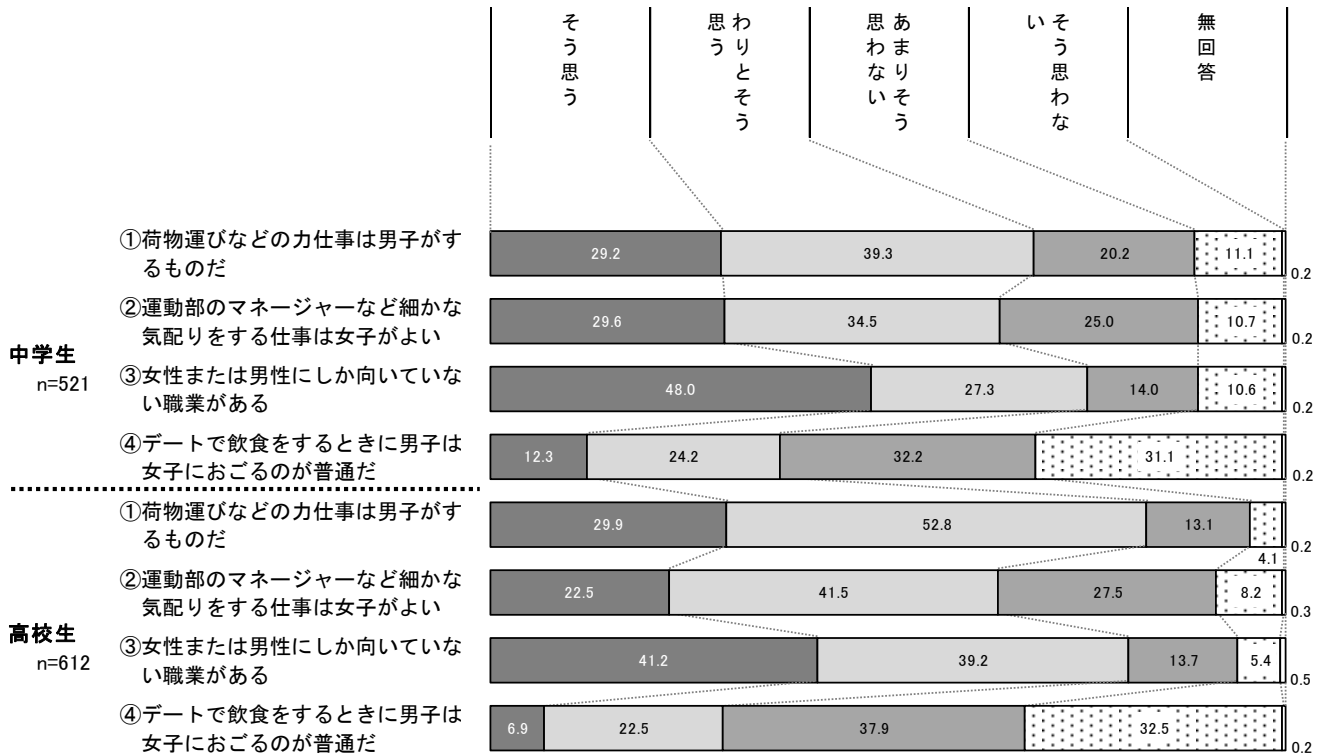
高校生

	①荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ	②運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい	③女性または男性にしか向いていない職業がある	④デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ
『概ねそう思う』	82.7%	64.0%	80.4%	29.4%
そう思う	29.9%	22.5%	41.2%	6.9%
わりとそう思う	52.8%	41.5%	39.2%	22.5%
『概ねそう思わない』	17.2%	35.7%	19.1%	70.4%
あまりそう思わない	13.1%	27.5%	13.7%	37.9%
そう思わない	4.1%	8.2%	5.4%	32.5%

『概ねそう思う』…「そう思う」と「わりとそう思う」を合算

『概ねそう思わない』…「そう思わない」と「あまりそう思わない」を合算

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】



【中学生】(①～④)

『概ねそう思う』は、「デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」(36.5%) 以外は 60%以上となっており、特に「女性または男性にしか向いていない職業がある」(75.3%) が高くなっています。

【高校生】(①～④)

『概ねそう思う』は「デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」(29.4%) 以外は 60%以上となっており、特に「荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ」(82.7%) が高くなっています。

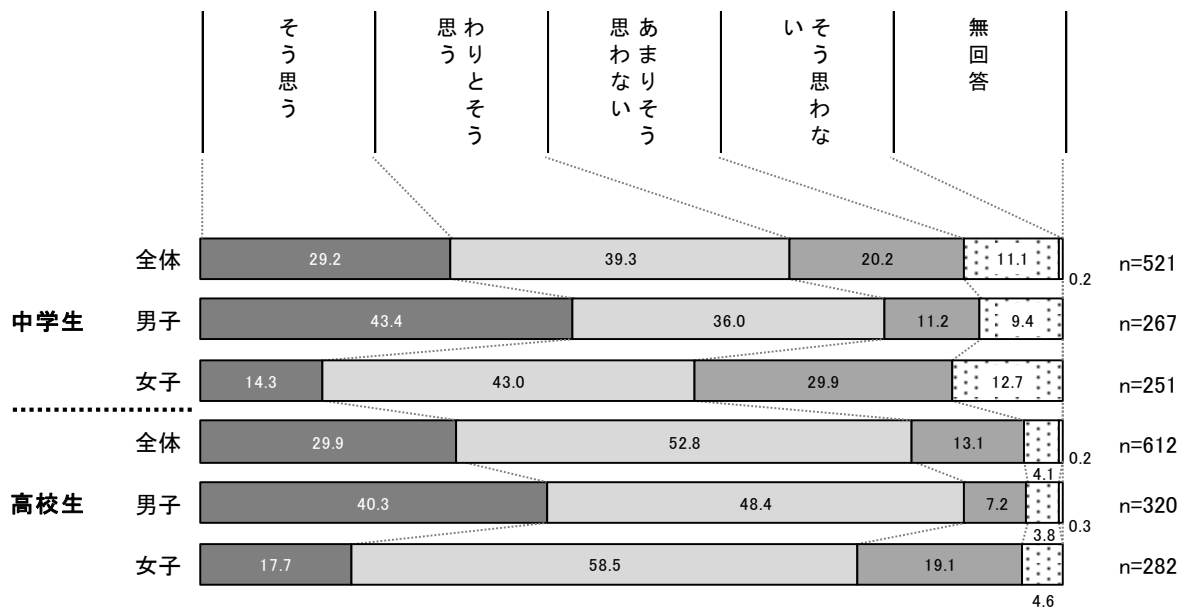
<①荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ>

◆『概ねそう思う』は中学生 68.5%、高校生 82.7%

◆前回調査と比べて、『概ねそう思う』は高校生で約 10 ポイント増加

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
『概ねそう思う』	68.5%	67.9%	82.7%	73.1%
そう思う	29.2%	22.0%	29.9%	20.6%
わりとそう思う	39.3%	45.9%	52.8%	52.5%
『概ねそう思わない』	31.3%	30.6%	17.2%	26.4%
あまりそう思わない	20.2%	11.6%	13.1%	10.2%
そう思わない	11.1%	19.0%	4.1%	16.2%

「わりとそう思う」（平成 22 年）…「わりとそう思う」と「少しそう思う」を合算



【中学生】

「わりとそう思う」（39.3%）が最も高く、次いで「そう思う」（29.2%）が高くなっており、『概ねそう思う』は 68.5%となっています。

性別で見ると、男子は「そう思う」（43.4%）が女子（14.3%）より 29.1 ポイント高くなっています。女子は「あまりそう思わない」（29.9%）が男子（11.2%）より 18.7 ポイント高くなっています。

【高校生】

「わりとそう思う」（52.8%）が最も高く、次いで「そう思う」（29.9%）が高くなっており、『概ねそう思う』は 82.7%となっています。

性別で見ると、男子は「そう思う」（40.3%）が女子（17.7%）より 22.6 ポイント高くなっています。女子は「あまりそう思わない」（19.1%）が男子（7.2%）より 11.9 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は『概ねそう思う』（82.7%）が中学生（68.5%）より 14.2 ポイント高く、特に女子（76.2%）は中学生の女子（57.3%）より 18.9 ポイント高くなっています。

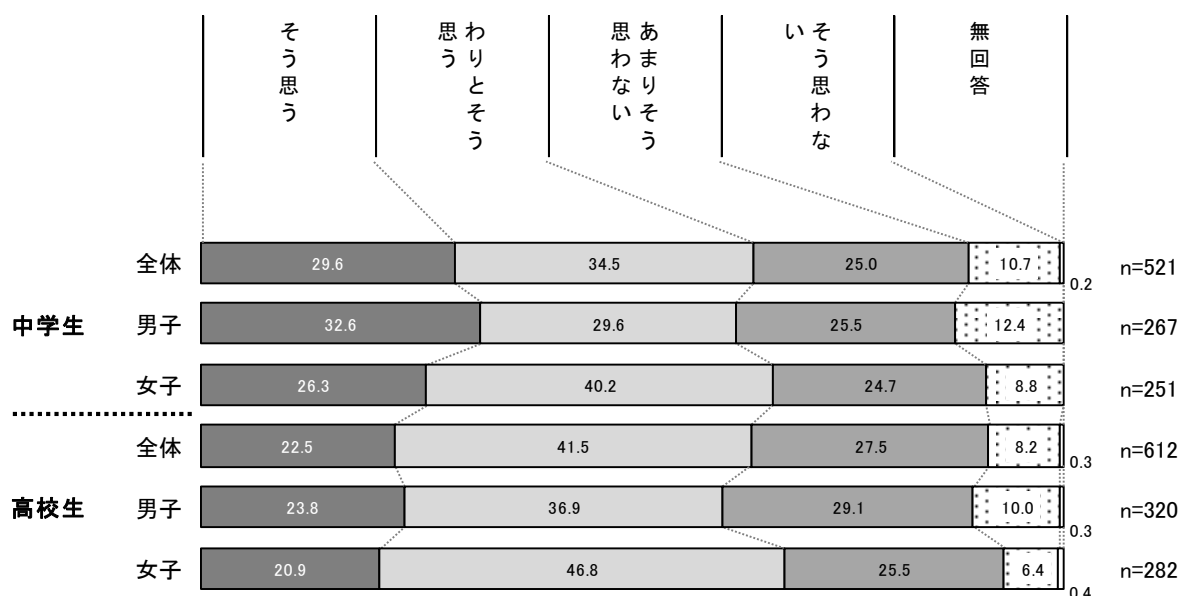
Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<②運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい>

◆『概ねそう思う』は中学生 64.1%、高校生 64.0%

◆前回調査と比べて、『概ねそう思わない』は高校生で約8ポイント増加

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
『概ねそう思う』	64.1%	61.6%	64.0%	71.7%
そう思う	29.6%	23.1%	22.5%	30.6%
わりとそう思う	34.5%	38.5%	41.5%	41.1%
『概ねそう思わない』	35.7%	36.8%	35.7%	27.8%
あまりそう思わない	25.0%	16.6%	27.5%	12.7%
そう思わない	10.7%	20.2%	8.2%	15.1%



【中学生】

「わりとそう思う」（34.5%）が最も高く、次いで「そう思う」（29.6%）が高くなっており、『概ねそう思う』は64.1%となっています。

性別でみると、男子は「そう思う」（32.6%）が女子（26.3%）より6.3ポイント高く、女子は『概ねそう思う』（66.5%）が男子（62.2%）より4.3ポイント高くなっています。

【高校生】

「わりとそう思う」（41.5%）が最も高く、次いで「あまりそう思わない」（27.5%）が高くなっています。『概ねそう思う』は64.0%となっています。

性別でみると、女子は『概ねそう思う』（67.7%）が男子（60.7%）より7.0ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

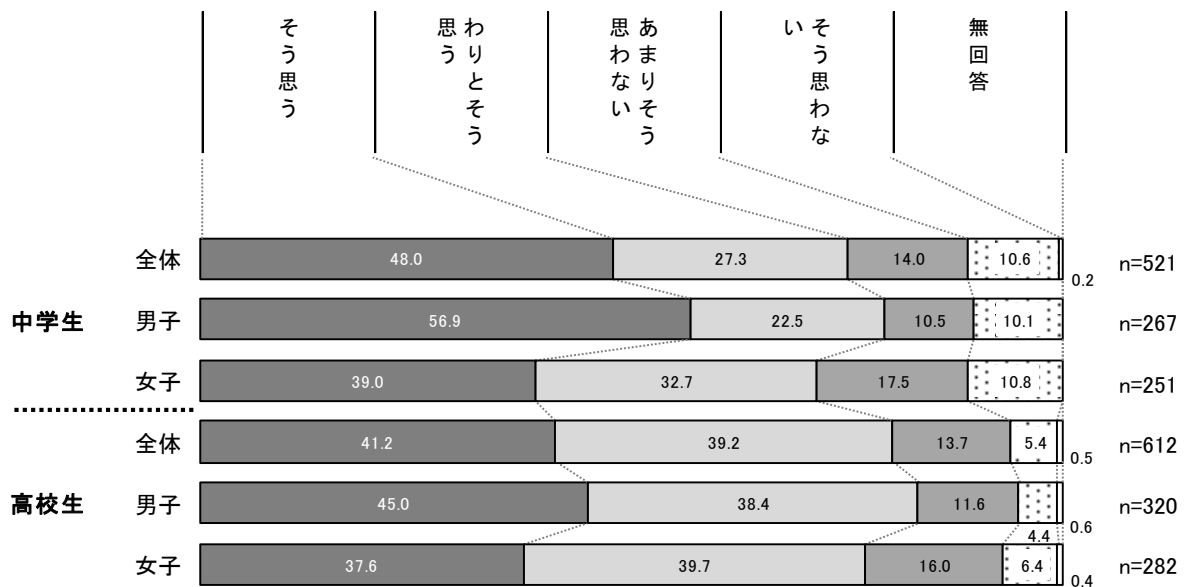
中学生は「そう思う」（29.6%）が高校生（22.5%）より7.1ポイント高く、特に男子（32.6%）は高校生の男子（23.8%）より8.8ポイント高くなっています。

<③女性または男性にしか向いていない職業がある>

◆『概ねそう思う』は中学生 75.3%、高校生 80.4%

◆前回調査と比べて、『概ねそう思わない』は中学生・高校生ともに微増

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
『概ねそう思う』	75.3%	77.1%	80.4%	83.9%
そう思う	48.0%	37.5%	41.2%	41.2%
わりとそう思う	27.3%	39.6%	39.2%	42.7%
『概ねそう思わない』	24.6%	21.5%	19.1%	15.3%
あまりそう思わない	14.0%	6.4%	13.7%	6.7%
そう思わない	10.6%	15.1%	5.4%	8.6%



【中学生】

「そう思う」(48.0%) が最も高く、次いで「わりとそう思う」(27.3%) が高くなっており、『概ねそう思う』は 75.3% となっています。

性別でみると、男子は「そう思う」(56.9%) が女子 (39.0%) より 17.9 ポイント高くなっています。

【高校生】

「そう思う」(41.2%) が最も高く、次いで「わりとそう思う」(39.2%) が高くなっており、『概ねそう思う』は 80.4% となっています。

性別でみると、男子は「そう思う」(45.0%) が女子 (37.6%) より 7.4 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「そう思う」(48.0%) が高校生(41.2%) より 6.8 ポイント高く、特に男子(56.9%) は高校生の男子 (45.0%) より 11.9 ポイント高くなっています。

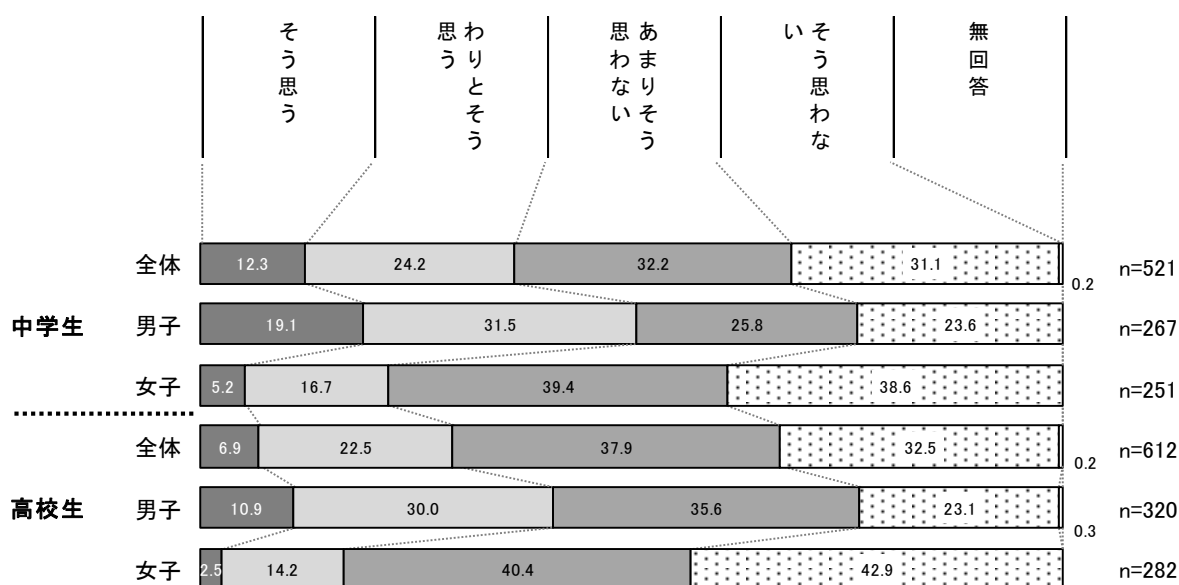
Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<④デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ>

◆『概ねそう思わない』は中学生 63.3%、高校生 70.4%

◆前回調査と比べて、『概ねそう思わない』は中学生・高校生ともに 10 ポイント以上増加

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
『概ねそう思う』	36.5%	52.3%	29.4%	42.7%
そう思う	12.3%	17.5%	6.9%	10.2%
わりとそう思う	24.2%	34.8%	22.5%	32.5%
『概ねそう思わない』	63.3%	46.7%	70.4%	56.9%
あまりそう思わない	32.2%	21.6%	37.9%	26.8%
そう思わない	31.1%	25.1%	32.5%	30.1%



【中学生】

「あまりそう思わない」(32.2%)と「そう思わない」(31.1%)がともに高く、『概ねそう思わない』は63.3%、『概ねそう思う』は36.5%となっています。

性別で見ると、男子は『概ねそう思う』(50.6%)が女子(21.9%)より28.7ポイント高く、女子は『概ねそう思わない』(78.0%)が男子(49.4%)より28.6ポイント高くなっています。

【高校生】

「あまりそう思わない」(37.9%)が最も高く、次いで「そう思わない」(32.5%)が高くなっており、『概ねそう思わない』は70.4%、『概ねそう思う』は29.4%となっています。

性別で見ると、男子は『概ねそう思う』(40.9%)が女子(16.7%)より24.2ポイント高く、女子は『概ねそう思わない』(83.3%)が男子(58.7%)より24.6ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は『概ねそう思わない』(70.4%)が中学生(63.3%)より7.1ポイント高くなっており、特に男子(58.7%)は中学生の男子(49.4%)より9.3ポイント高くなっています。

【前回調査との比較】（日常生活における男女の役割分担について）

●『概ねそう思う』の割合

前回調査と比べて、中学生は「デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ」で 15.8 ポイント減少し、高校生は 13.3 ポイント減少しています。高校生は「荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ」で 9.6 ポイント増加し、「運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい」で 7.7 ポイント減少しています。

		(%)			
		①荷物運びなどの力仕事は男子がするものだ	②運動部のマネージャーなど細かな気配りをする仕事は女子がよい	③女性または男性にしか向いていない職業がある	④デートで飲食をするときに男子は女子におごるのが普通だ
中学生	平成 28 年	68.5	64.1	75.3	36.5
	平成 22 年	67.9	61.6	77.1	52.3
	差	0.6	2.5	-1.8	-15.8
高校生	平成 28 年	82.7	64.0	80.4	29.4
	平成 22 年	73.1	71.7	83.9	42.7
	差	9.6	-7.7	-3.5	-13.3

4 結婚・将来の生活について

4-1 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について

問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはごどう思ひますか。(1つに○印)

◆中学生は『概ね賛成』41.2%、『概ね反対』31.9%、高校生は『概ね賛成』29.7%、『概ね反対』39.1%

◆前回調査と比べて、中学生は『概ね反対』が増加、高校生は「わからない」が増加

中学生

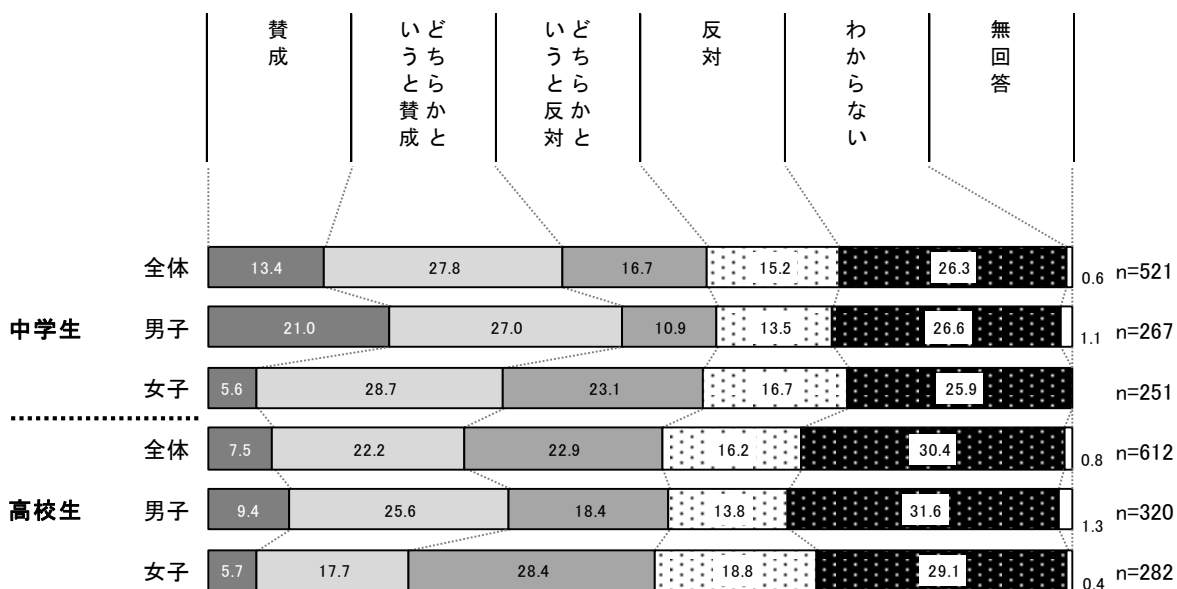
	平成 28 年9月	平成 22 年9月	平成 18 年9月
『概ね賛成』	41.2%	42.2%	36.8%
賛成	13.4%	15.6%	13.1%
どちらかという賛成	27.8%	26.6%	23.7%
『概ね反対』	31.9%	26.0%	33.8%
どちらかという反対	16.7%	12.7%	18.4%
反対	15.2%	13.3%	15.4%
わからない	26.3%	30.2%	29.0%

高校生

	平成 28 年9月	平成 22 年9月	平成 18 年9月
『概ね賛成』	29.7%	33.5%	30.1%
賛成	7.5%	7.8%	7.0%
どちらかという賛成	22.2%	25.7%	23.1%
『概ね反対』	39.1%	44.6%	50.3%
どちらかという反対	22.9%	25.2%	26.9%
反対	16.2%	19.4%	23.4%
わからない	30.4%	21.4%	19.1%

『概ね賛成』…「賛成」と「どちらかという賛成」を合算

『概ね反対』…「反対」と「どちらかという反対」を合算



【中学生】

『概ね賛成』は41.2%、『概ね反対』は31.9%となっており、賛成が反対より9.3ポイント高くなっています。

性別で見ると、男子は『概ね賛成』（48.0%）が女子（34.3%）より13.7ポイント高く、女子は『概ね反対』（39.8%）が男子（24.4%）より15.4ポイント高くなっています。

【高校生】

『概ね賛成』は29.7%、『概ね反対』は39.1%となっており、反対が賛成より9.4ポイント高くなっています。

性別で見ると、男子は『概ね賛成』（35.0%）が女子（23.4%）より11.6ポイント高く、女子は『概ね反対』（47.2%）が男子（32.2%）より15.0ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は『概ね賛成』（41.2%）が高校生（29.7%）より11.5ポイント高くなっています。

【一般市民との比較】（「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について）

中学生は『概ね賛成』（41.2%）が高く、『概ね反対』（31.9%）より約10ポイント高くなっています。

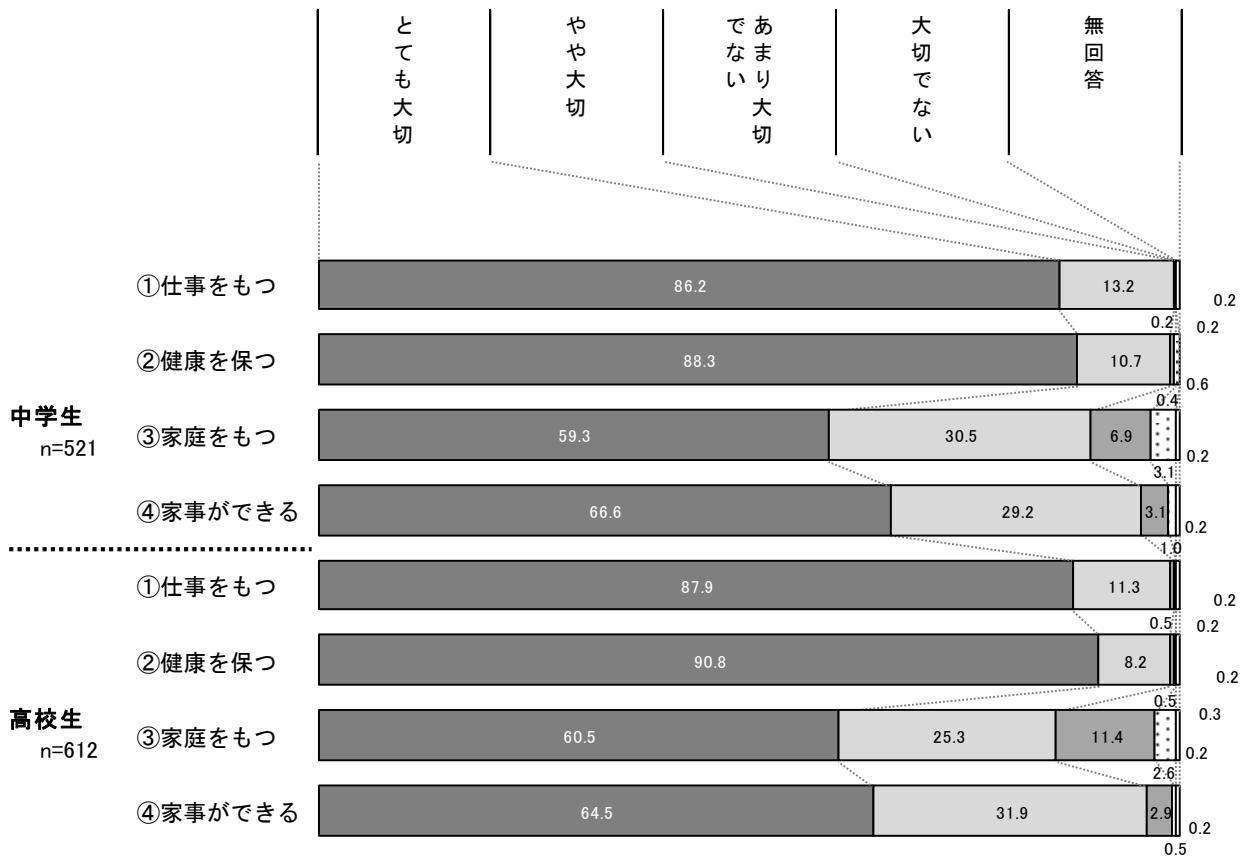
高校生と一般市民は『概ね反対』が高く、『概ね賛成』より約10ポイント高くなっています。

	(%)		
	中学生	高校生	一般市民
『概ね賛成』	41.2	29.7	37.4
賛成	13.4	7.5	4.5
どちらかという賛成	27.8	22.2	32.9
『概ね反対』	31.9	39.1	48.3
どちらかという反対	16.7	22.9	26.3
反対	15.2	16.2	22.0
わからない	26.3	30.4	13.5

4-2 将来の生活における仕事・健康・家庭・家事の重要度

問8 将来、あなたが希望する生活を送るために、次のことはどれくらい大切だと思いますか。次の①～④についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆中学生・高校生ともに「とても大切」は「仕事」と「健康」で約9割、「家事」で6割強、「家庭」で約6割



【中学生】(①～④)

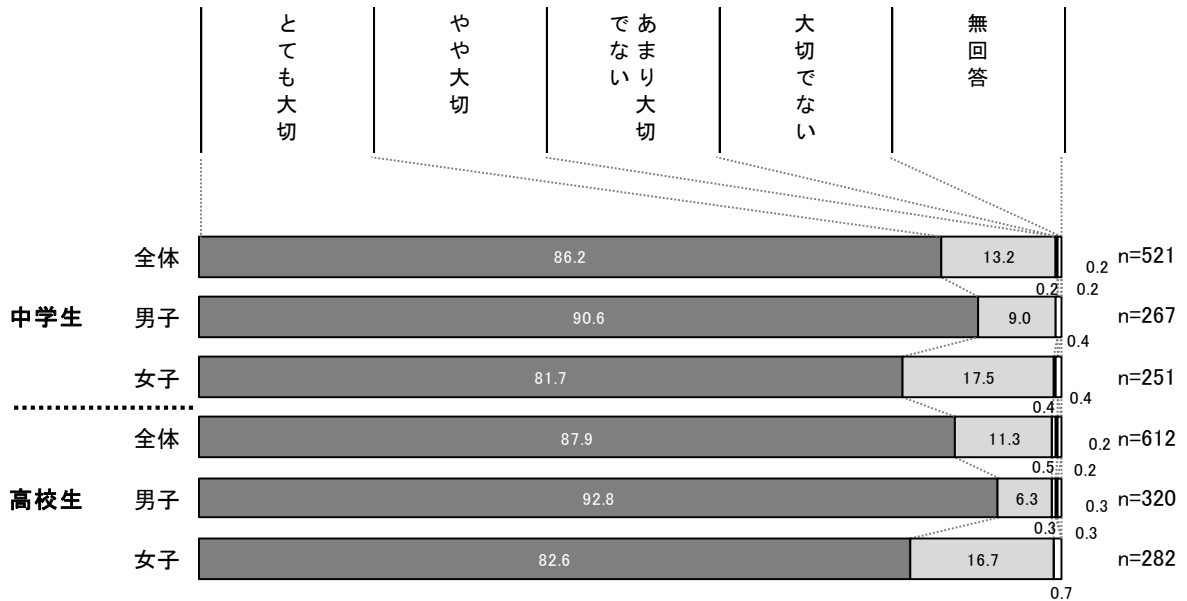
「とても大切」は、「仕事をもつ」と「健康を保つ」で9割弱、「家庭をもつ」で約6割、「家事ができる」で6割強となっています。「とても大切」と「やや大切」を合わせた『概ね大切』は、どの項目でも約9割以上を占めています。『概ね大切でない』（「大切でない」と「あまり大切でない」の合計）は「家庭をもつ」以外の項目では1割未満となっています。

【高校生】(①～④)

「とても大切」は、「仕事をもつ」と「健康を保つ」で約9割、「家庭をもつ」で約6割、「家事ができる」で6割強となっています。『概ね大切』は、どの項目でも8割以上を占めています。『概ね大切でない』は「家庭をもつ」以外の項目では1割未満となっています。

<①仕事をもつ>

◆仕事をもつことは「とても大切」は中学生 86.2%、高校生 87.9%



【中学生】

『概ね大切』は99.4%を占め、そのうち「とても大切」は86.2%となっています。
性別で見ると、男子は「とても大切」(90.6%)が女子(81.7%)より8.9ポイント高くなっています。

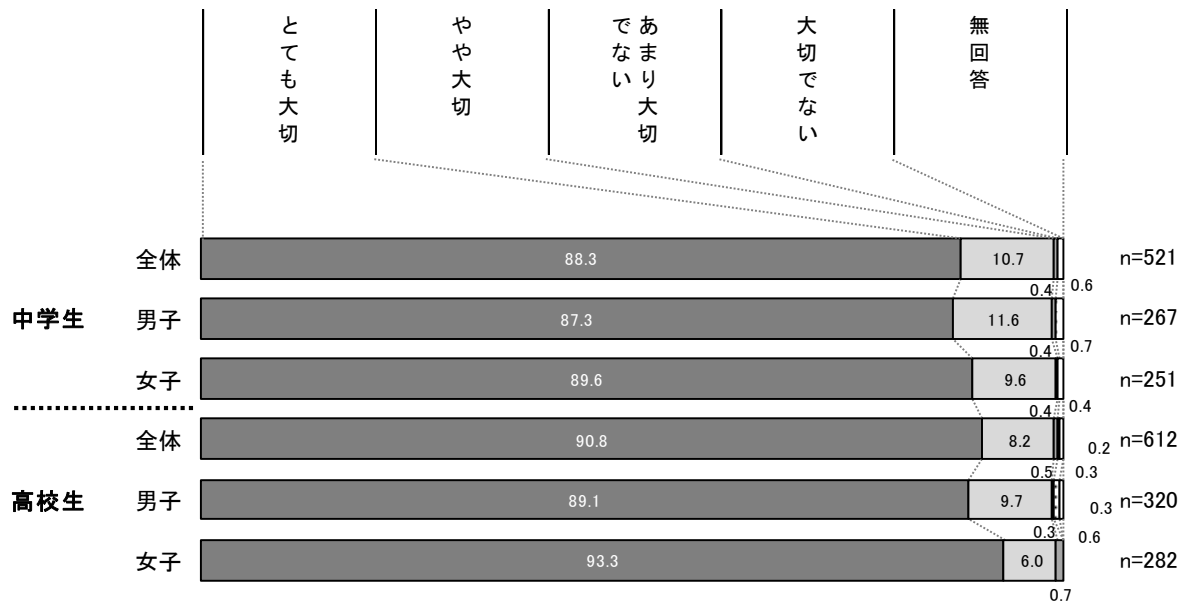
【高校生】

『概ね大切』は99.2%を占め、そのうち「とても大切」は87.9%となっています。
性別で見ると、男子は「とても大切」(92.8%)が女子(82.6%)より10.2ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<②健康を保つ>

◆健康を保つことは「とても大切」は中学生 88.3%、高校生 90.8%



【中学生】

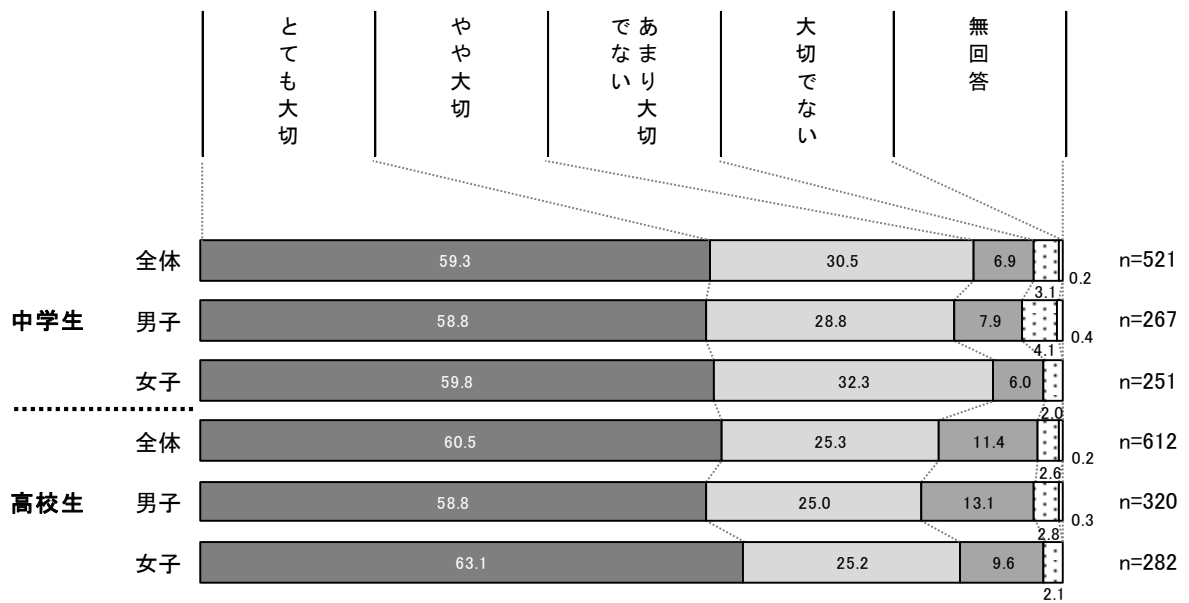
『概ね大切』は99.0%を占め、そのうち「とても大切」は88.3%となっています。

【高校生】

『概ね大切』は99.0%を占め、そのうち「とても大切」は90.8%となっています。

<③家庭をもつ>

◆家庭をもつことは「とても大切」は中学生 59.3%、高校生 60.5%



【中学生】

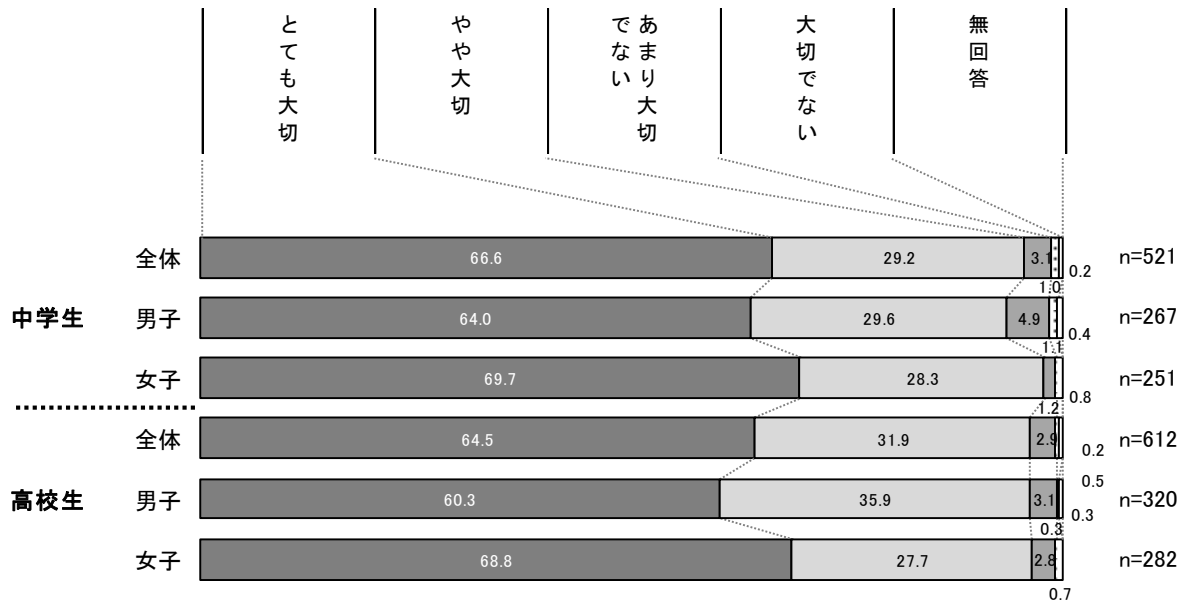
『概ね大切』は89.8%を占め、そのうち「とても大切」は59.3%となっています。

【高校生】

『概ね大切』は85.8%を占め、そのうち「とても大切」は60.5%となっています。

<④家事ができる>

◆家事ができることは「とても大切」は中学生 66.6%、高校生 64.5%



【中学生】

『概ね大切』は95.8%を占め、そのうち「とても大切」は66.6%となっています。
性別でみると、女子は「とても大切」(69.7%)が男子(64.0%)より5.7ポイント高くなっています。

【高校生】

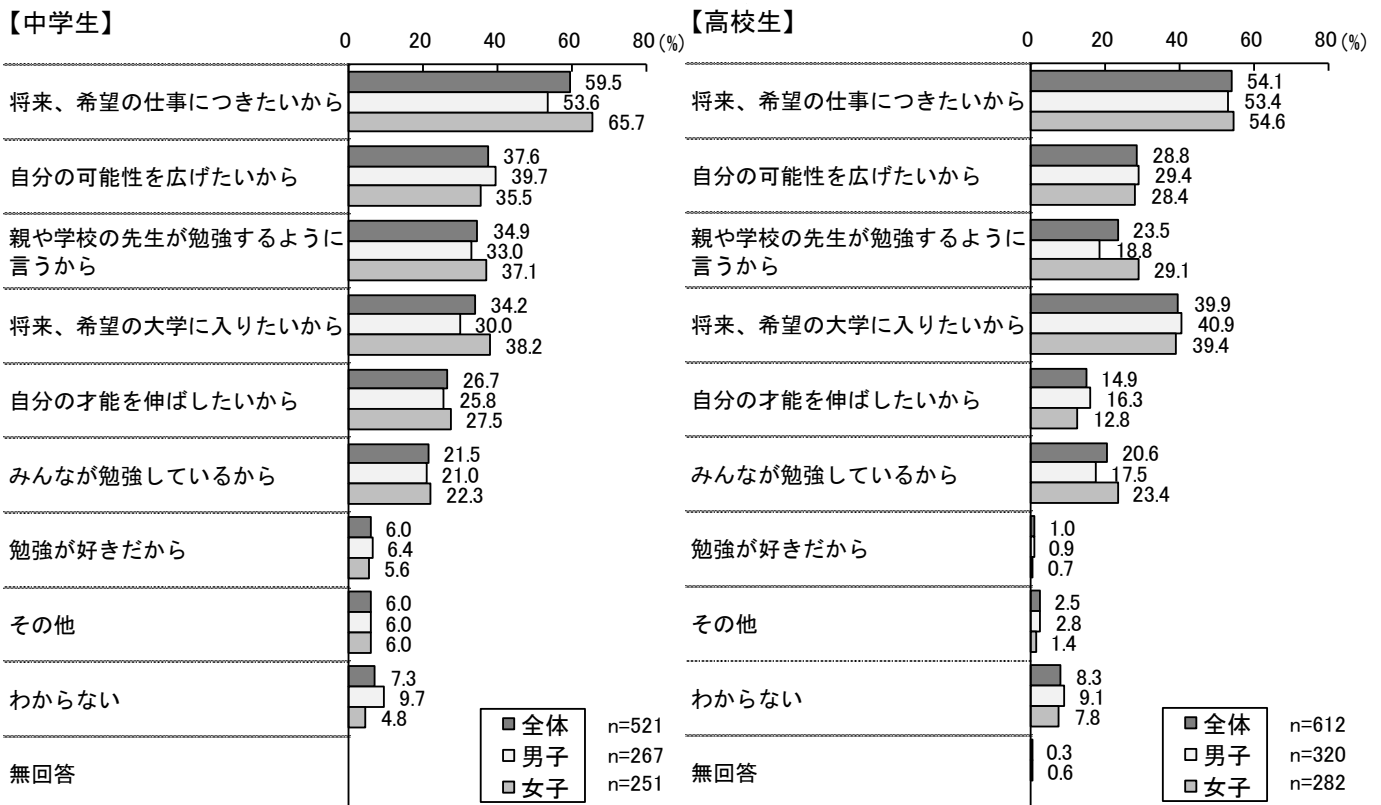
『概ね大切』は96.4%を占め、そのうち「とても大切」は64.5%となっています。
性別でみると、女子は「とても大切」(68.8%)が男子(60.3%)より8.5ポイント高くなっています。

5 教育について

5-1 勉強する理由

問9 あなたが勉強する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

◆中学生・高校生ともに「将来、希望の仕事につきたいから」が第1位。中学生の2位は「自分の可能性を広げたいから」、高校生の2位は「将来、希望の大学に入りたいから」



【中学生】

「将来、希望の仕事につきたいから」(59.5%)が最も高く、次いで「自分の可能性を広げたいから」(37.6%)が高くなっています。

性別でみると、女子は「将来、希望の仕事につきたいから」(65.7%)で高く、男子(53.6%)より12.1ポイント高くなっています。

【高校生】

「将来、希望の仕事につきたいから」(54.1%)が最も高く、次いで「将来、希望の大学に入りたいから」(39.9%)が高くなっています。

性別でみると、女子は「親や学校の先生が勉強するように言うから」(29.1%)が男子(18.8%)より10.3ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「自分の可能性を広げたいから」、「親や学校の先生が勉強するように言うから」、「自分の才能を伸ばしたいから」が高校生を約10ポイント上回っています。

■「その他」の内訳

中学生

意見(30件)
・ テストがあるから(3件)
・ 義務教育だから(3件)
・ 競争しているから(3件)
・ お金を稼ぐため(3件)
・ 高校に進学したいから(2件)
・ その他(16件)

高校生

意見(13件)
・ 親への恩返し(2件)
・ 留年したくないから
・ 将来いい生活をしたいから
・ 勉強しなければいけない年齢だから
・ 社会貢献したいから
・ その他(7件)

5-2 希望する進学先

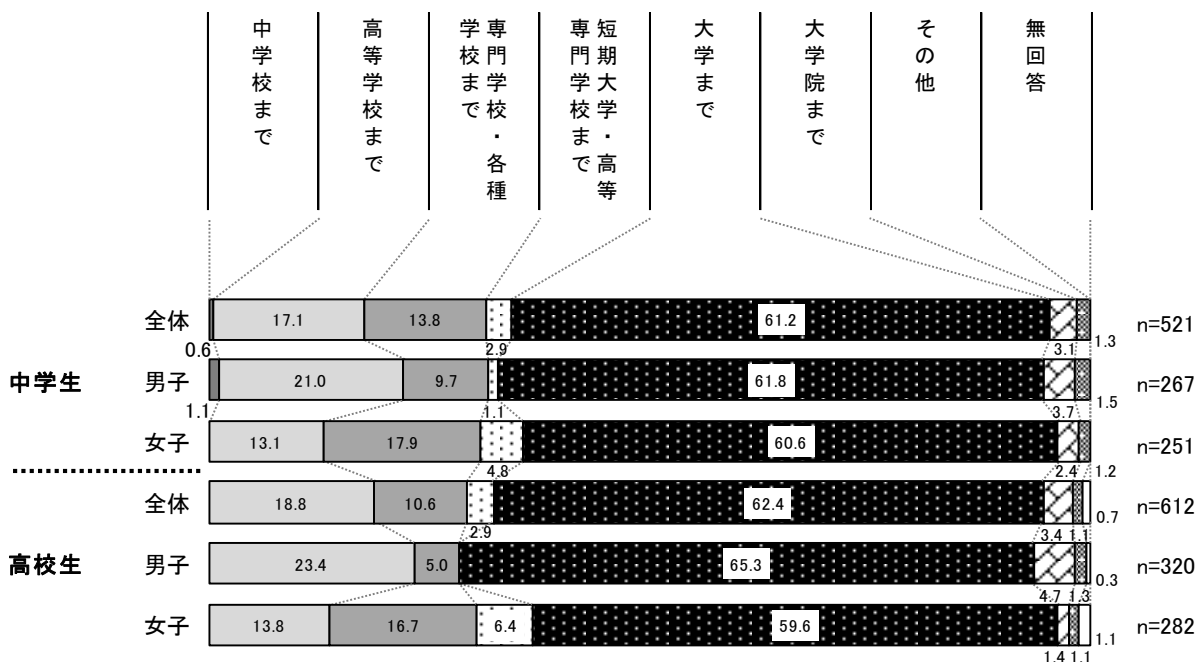
問10 あなたは、どこまで進学したいですか。(1つに○印)

◆中学生・高校生ともに「大学まで」が約6割

◆前回調査と比べて、中学生で「大学まで」が大きく増加

※前回調査の設問文は「あなたは、どこまで勉強したいと思いますか」。

	中学生		高校生	
	平成 28 年	平成 22 年	平成 28 年	平成 22 年
中学校まで	0.6%	—	—	—
高等学校まで	17.1%	28.4%	18.8%	17.9%
専門学校・各種学校まで	13.8%	12.4%	10.6%	10.3%
短期大学・高等専門学校まで	2.9%	8.5%	2.9%	3.8%
大学まで ※前回調査は「4年制大学まで」	61.2%	35.5%	62.4%	58.8%
大学院まで	3.1%	10.4%	3.4%	5.9%
その他	1.3%	1.7%	1.1%	1.8%



【中学生】

「大学まで」(61.2%) が最も高く、次いで「高等学校まで」(17.1%) が高くなっています。

性別で見ると、女子は「専門学校・各種学校まで」(17.9%) が男子(9.7%) より 8.2 ポイント高くなっています。

【高校生】

「大学まで」(62.4%) が最も高くなっています。

性別でみると、女子は「専門学校・各種学校まで」(16.7%) が男子(5.0%) より 11.7 ポイント高く、男子は「大学まで」(65.3%) が女子(59.6%) より 5.7 ポイント高くなっています。

【一般市民との比較】(希望する進学先、子どもに期待する進学先)

女子の進学希望と一般市民の女の子への期待についてみると、中学生・高校生は「大学まで」が約 60% で一般市民(55.1%) より若干高く、一般市民は「短期大学・高等専門学校まで」が中学生・高校生より若干高くなっています。

男子の進学希望と一般市民の男の子への期待についてみると、中学生・高校生と一般市民はともに「大学まで」が 60% 台ですが、中学生・高校生は「高等学校まで」が 20% 台で一般市民(5.8%) より高くなっています。

●女子の進学希望と、一般市民の女の子への期待

(%)

	中学生女子	高校生女子	一般市民
中学校まで	—	—	—
高等学校まで	13.1	13.8	9.1
専門学校・各種学校まで	17.9	16.7	7.8
短期大学・高等専門学校まで	4.8	6.4	10.3
大学まで	60.6	59.6	55.1
大学院まで	2.4	1.4	2.6
その他	1.2	1.1	11.3

●男子の進学希望と、一般市民の男の子への期待

(%)

	中学生男子	高校生男子	一般市民
中学校まで	1.1	—	—
高等学校まで	21.0	23.4	5.8
専門学校・各種学校まで	9.7	5.0	4.6
短期大学・高等専門学校まで	1.1	—	1.7
大学まで	61.8	65.3	68.3
大学院まで	3.7	4.7	5.3
その他	1.5	1.3	10.9

■「その他」の内訳

中学生

意見(7件)
・ 未定(5件)
・ 留学
・ 大学か高等学校

高校生

意見(5件)
・ 未定(2件)
・ 専門学校か大学(2件)
・ 留学

6 職業について

6-1 職業選択の際に重要視すること

問11 職業を選ぶとしたら、次のようなことをどれくらい大切に考えますか。次の①～⑦についてそれぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆中学生・高校生ともに「とても大切」は「安定して長く続けられる」で8割以上

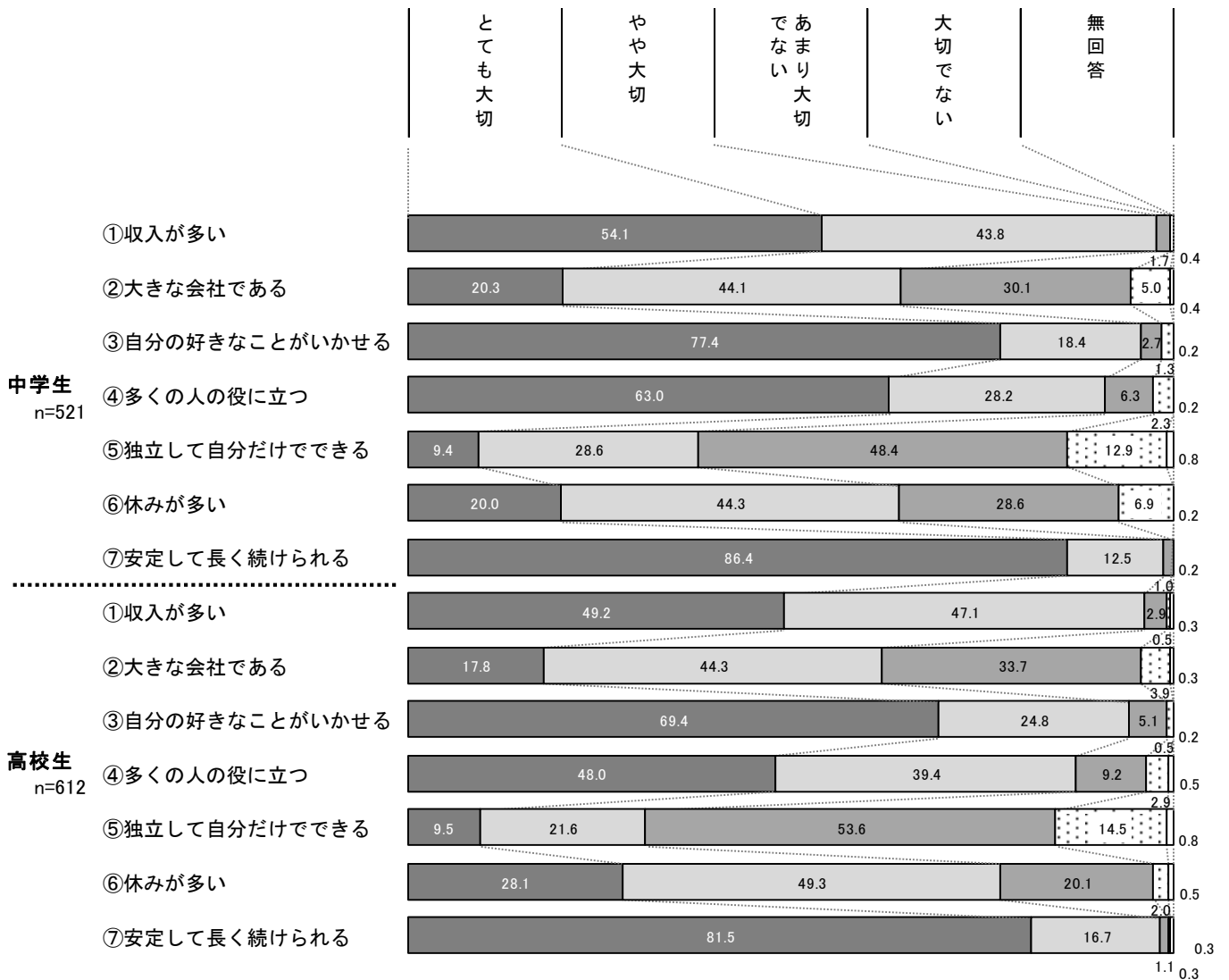
	①収入が多い	②大きな会社である	③自分の好きなことがいける	④多くの人の役に立つ	⑤独立して自分だけでできる	⑥休みが多い	⑦安定して長く続けられる
中学生							
『概ね大切』	97.9%	64.4%	95.8%	91.2%	38.0%	64.3%	98.9%
とても大切	54.1%	20.3%	77.4%	63.0%	9.4%	20.0%	86.4%
やや大切	43.8%	44.1%	18.4%	28.2%	28.6%	44.3%	12.5%
『概ね大切でない』	2.1%	35.1%	4.0%	8.6%	61.3%	35.5%	1.0%
あまり大切でない	1.7%	30.1%	2.7%	6.3%	48.4%	28.6%	1.0%
大切でない	0.4%	5.0%	1.3%	2.3%	12.9%	6.9%	—

	①収入が多い	②大きな会社である	③自分の好きなことがいける	④多くの人の役に立つ	⑤独立して自分だけでできる	⑥休みが多い	⑦安定して長く続けられる
高校生							
『概ね大切』	96.3%	62.1%	94.2%	87.4%	31.1%	77.4%	98.2%
とても大切	49.2%	17.8%	69.4%	48.0%	9.5%	28.1%	81.5%
やや大切	47.1%	44.3%	24.8%	39.4%	21.6%	49.3%	16.7%
『概ね大切でない』	3.4%	37.6%	5.6%	12.1%	68.1%	22.1%	1.4%
あまり大切でない	2.9%	33.7%	5.1%	9.2%	53.6%	20.1%	1.1%
大切でない	0.5%	3.9%	0.5%	2.9%	14.5%	2.0%	0.3%

『概ね大切』…「とても大切」と「やや大切」を合算

『概ね大切でない』…「あまり大切でない」と「大切でない」を合算

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】



【中学生】(①～⑦)

「とても大切」は、「安定して長く続けられる」で86.4%、「自分の好きなことがいかにせる」で77.4%、「多くの人の役に立つ」で63.0%、「収入が多い」で54.1%となっており、『概ね大切』はこれらの項目で90%以上を占めています。『概ね大切でない』は「独立して自分だけでできる」で61.3%と高くなっています。

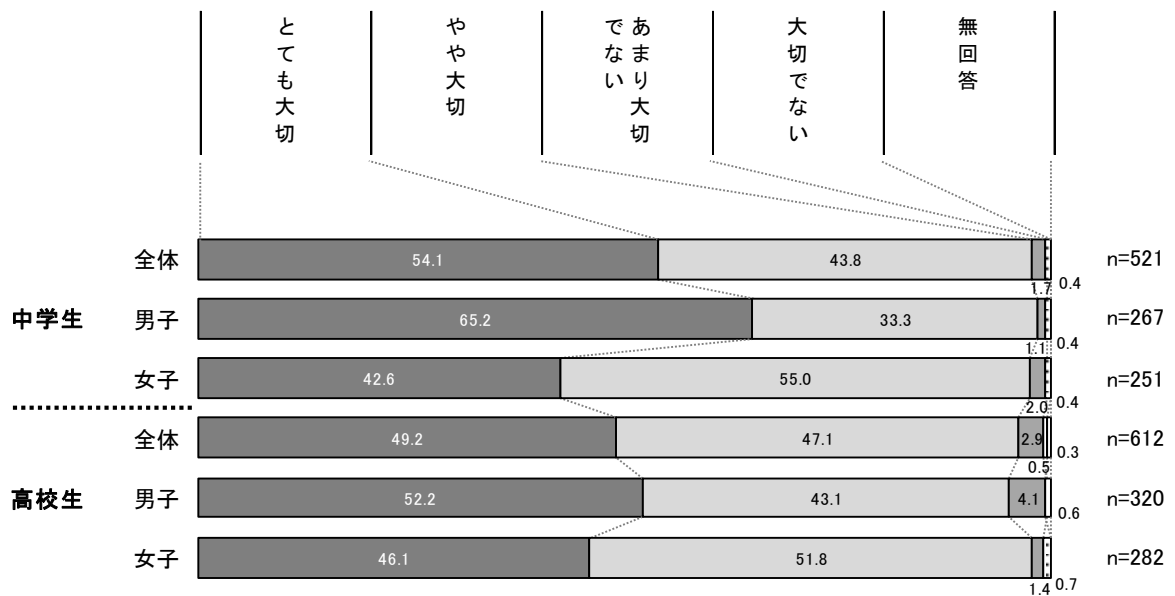
【高校生】(①～⑦)

「とても大切」は、「安定して長く続けられる」で81.5%、「自分の好きなことがいかにせる」で69.4%、「収入が多い」で49.2%となっており、『概ね大切』はこれらの項目で90%以上を占めています。『概ね大切でない』は「独立して自分だけでできる」で68.1%と高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<①収入が多い>

◆収入が多いことは「とても大切」は中学生 54.1%、高校生 49.2%



【中学生】

『概ね大切』は97.9%を占め、そのうち「とても大切」は54.1%となっています。
性別で見ると、男子は「とても大切」(65.2%)が女子(42.6%)より22.6ポイント高くなっています。

【高校生】

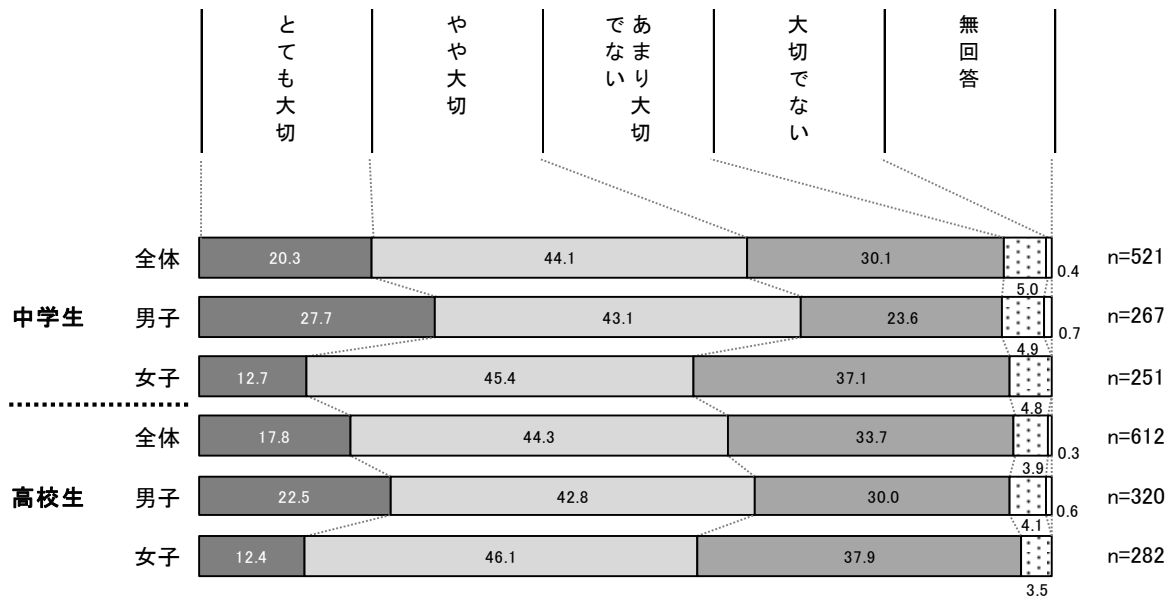
『概ね大切』は96.3%を占め、そのうち「とても大切」は49.2%となっています。
性別で見ると、男子は「とても大切」(52.2%)が女子(46.1%)より6.1ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生の男子は「とても大切」(52.2%)が中学生の男子(65.2%)より13.0ポイント低く、高校生の女子(46.1%)は中学生の女子(42.6%)より3.5ポイント高くなっています。

<②大きな会社である>

◆大きな会社であることが「とても大切」は中学生 20.3%、高校生 17.8%



【中学生】

『概ね大切』は64.4%で、そのうち「とても大切」は20.3%となっています。

性別でみると、男子は「とても大切」(27.7%)が女子(12.7%)より15.0ポイント高くなっています。

【高校生】

『概ね大切』は62.1%で、そのうち「とても大切」は17.8%となっています。

性別でみると、男子は「とても大切」(22.5%)が女子(12.4%)より10.1ポイント高くなっています。

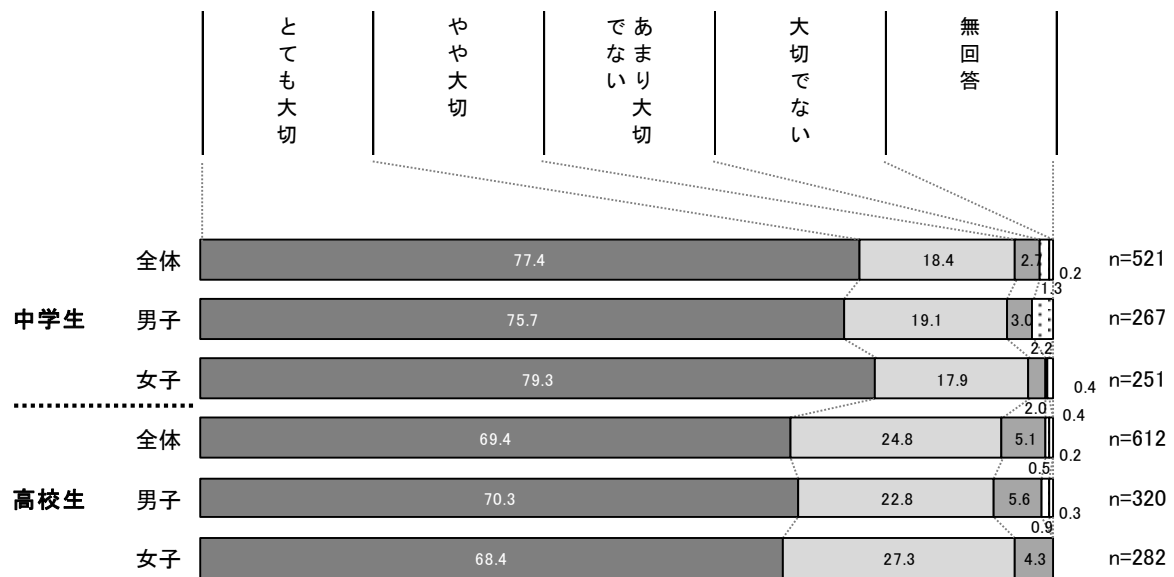
【中学生・高校生別】

中学生の男子は「とても大切」(27.7%)が高校生の男子(22.5%)より5.2ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<③自分の好きなことがいかにせる>

◆自分の好きなことがいかにせることが「とても大切」は中学生 77.4%、高校生 69.4%



【中学生】

『概ね大切』は95.8%を占め、そのうち「とても大切」は77.4%となっています。

【高校生】

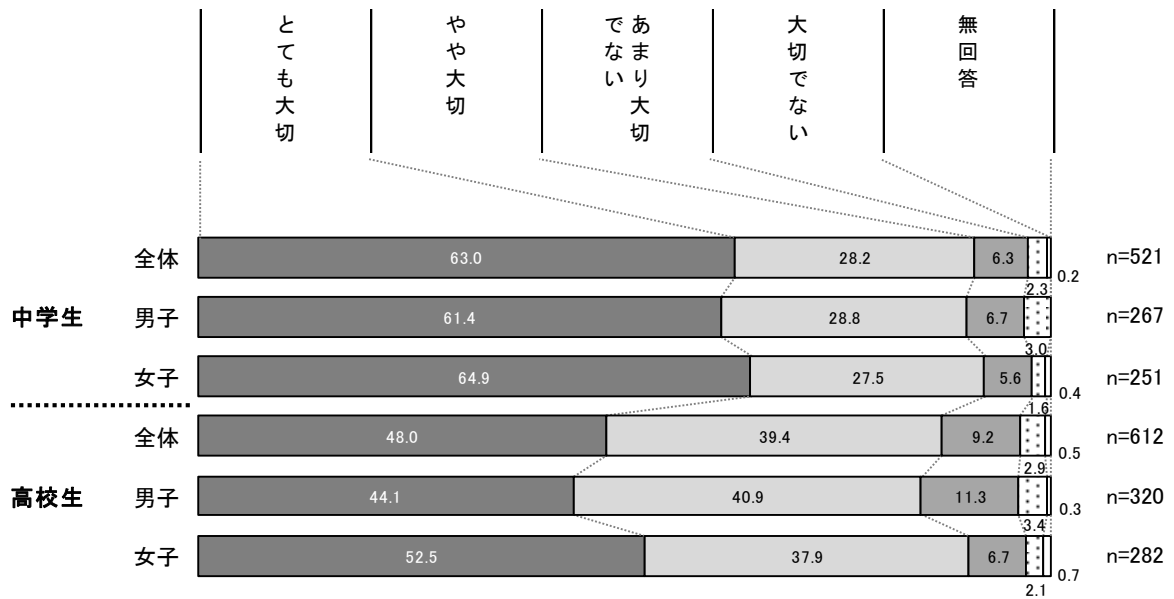
『概ね大切』は94.2%を占め、そのうち「とても大切」は69.4%となっています。

【中学生・高校生別】

中学生は「とても大切」(77.4%)が高校生(69.4%)より8.0ポイント高くなっていますが、特に女子(79.3%)は高校生の女子(68.4%)より10.9ポイント高くなっています。

<④多くの人の役に立つ>

◆多くの人の役に立つことが「とても大切」は中学生 63.0%、高校生 48.0%



【中学生】

『概ね大切』は91.2%を占め、そのうち「とても大切」は63.0%となっています。

【高校生】

『概ね大切』は87.4%を占め、そのうち「とても大切」は48.0%となっています。

性別でみると、女子は「とても大切」(52.5%)が男子(44.1%)より8.4ポイント高くなっています。

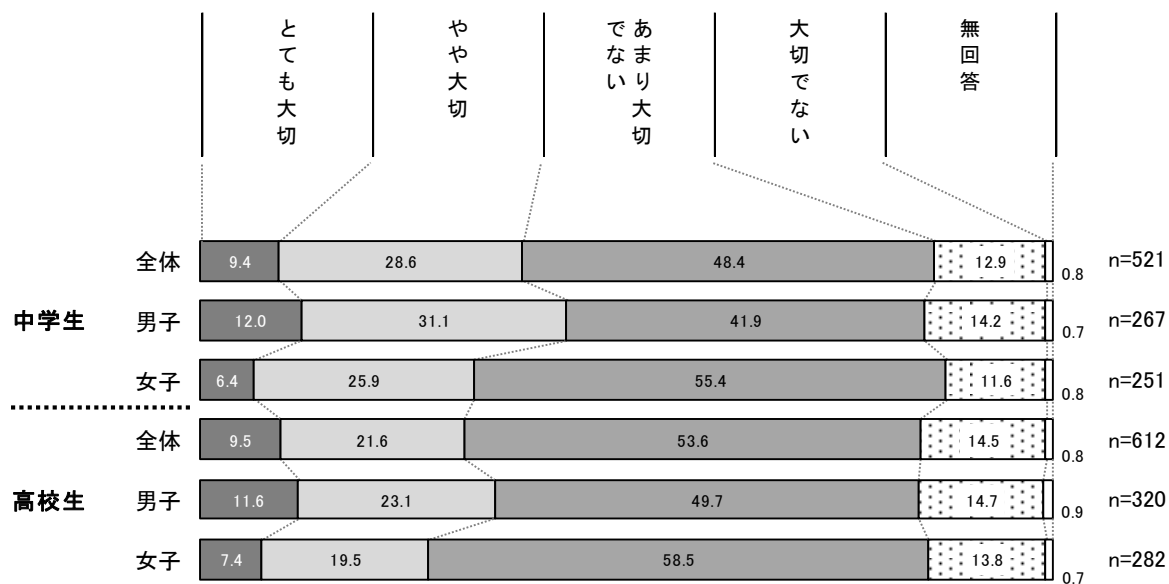
【中学生・高校生別】

中学生では「とても大切」(63.0%)が高校生(48.0%)より15.0ポイント高く、特に男子(61.4%)は高校生の男子(44.1%)より17.3ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<⑤独立して自分だけでできる>

◆独立して自分だけでできることが「とても大切」は中学生9.4%、高校生9.5%



【中学生】

『概ね大切』は38.0%で、そのうち「とても大切」は9.4%となっています。

性別でみると、男子は『概ね大切』（43.1%）が女子（32.3%）より10.8ポイント高くなっています。

【高校生】

『概ね大切』は31.1%で、そのうち「とても大切」は9.5%となっています。

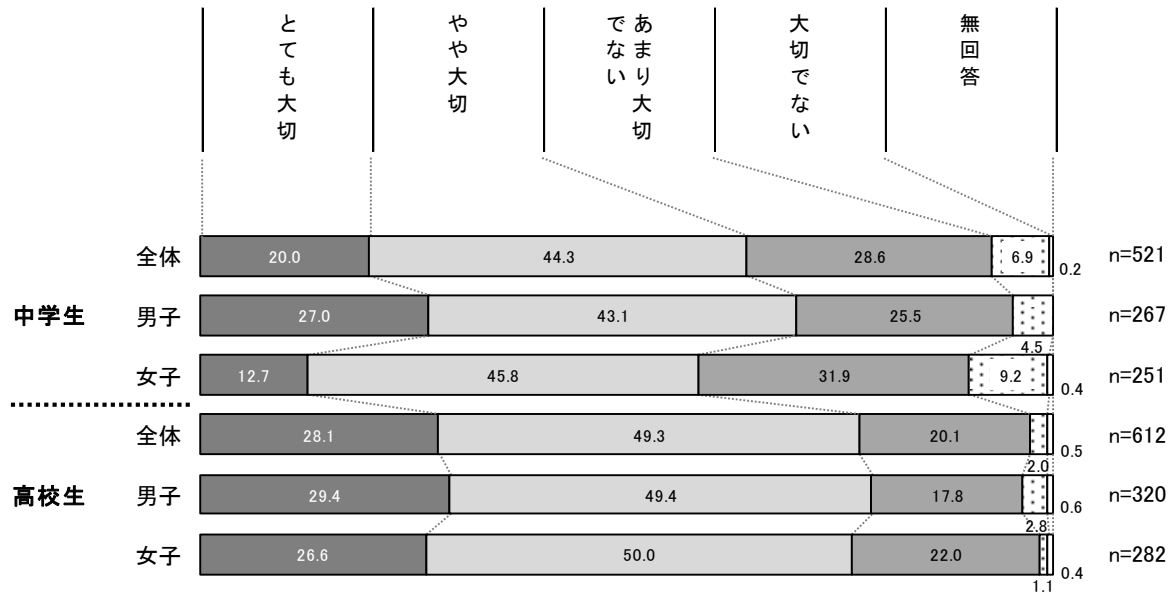
性別でみると、男子は『概ね大切』（34.7%）が女子（26.9%）より7.8ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は『概ね大切』（38.0%）が高校生（31.1%）より6.9ポイント高く、特に男子（43.1%）は高校生の男子（34.7%）より8.4ポイント高くなっています。

<⑥休みが多い>

◆休みが多いことが「とても大切」は中学生 20.0%、高校生 28.1%



【中学生】

『概ね大切』は64.3%で、そのうち「とても大切」は20.0%となっています。

性別で見ると、男子は「とても大切」(27.0%)が女子(12.7%)より14.3ポイント高くなっています。

【高校生】

『概ね大切』は77.4%で、そのうち「とても大切」は28.1%となっています。

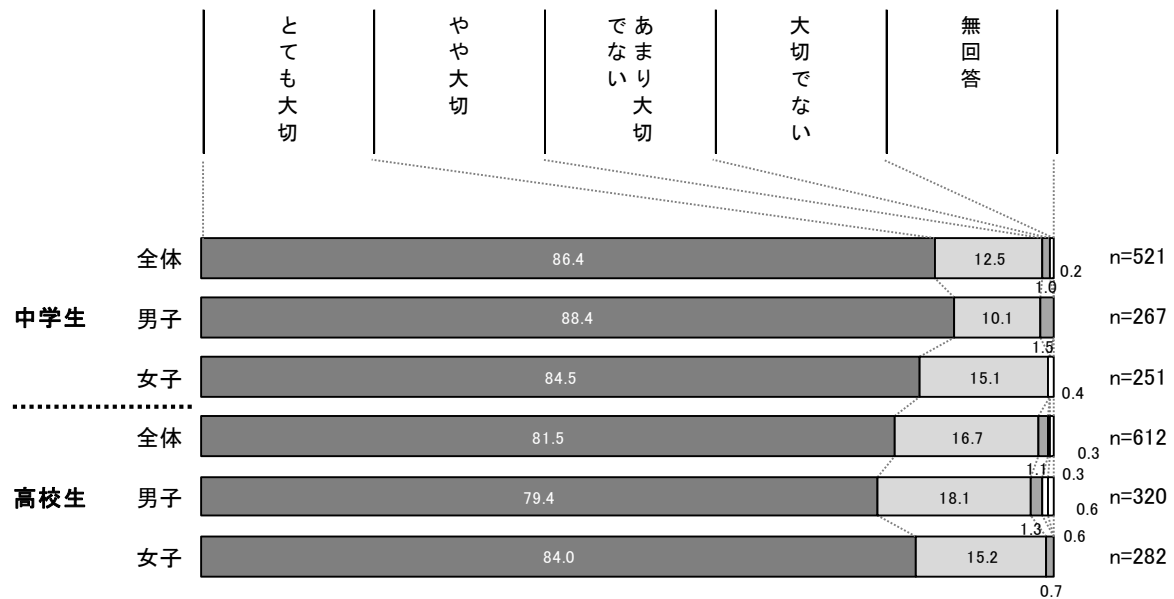
【中学生・高校生別】

高校生では『概ね大切』(77.4%)が中学生(64.3%)より13.1ポイント高く、特に女子(76.6%)は中学生の女子(58.5%)より18.1ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<⑦安定して長く続けられる>

◆安定して長く続けられることが「とても大切」は中学生 86.4%、高校生 81.5%



【中学生】

『概ね大切』は 98.9%を占め、そのうち「とても大切」は 86.4%となっています。

【高校生】

『概ね大切』は 98.2%を占め、そのうち「とても大切」は 81.5%となっています。

【中学生・高校生別】

中学生の男子は「とても大切」(88.4%)が高校生の男子(79.4%)より 9.0ポイント高くなっています。

【前回調査との比較】(職業選択の際に重要視すること)

●「とても大切」の割合

前回調査と比べて、中学生は「多くの人の役に立つ」で 6.0ポイント増加し、高校生は「休みが多い」で 5.5ポイント増加しています。

		(%)						
		①収入が多い	②大きな会社である	③自分の好きなことがい	④多くの人の役に立つ	⑤独立して自分だけでできる	⑥休みが多い	⑦安定して長く続けられる
中学生	平成 28 年	54.1	20.3	77.4	63.0	9.4	20.0	86.4
	平成 22 年	53.0	20.9	76.3	57.0	11.7	18.8	82.6
	差	1.1	-0.6	1.1	6.0	-2.3	1.2	3.8
高校生	平成 28 年	49.2	17.8	69.4	48.0	9.5	28.1	81.5
	平成 22 年	49.8	15.7	69.2	44.0	9.4	22.6	81.4

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

	年							
	差	-0.6	2.1	0.2	4.0	0.1	5.5	0.1

6-2 女性が職業をもつことについて

問12 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたの考えは次のうちどれですか。(1つに○印)

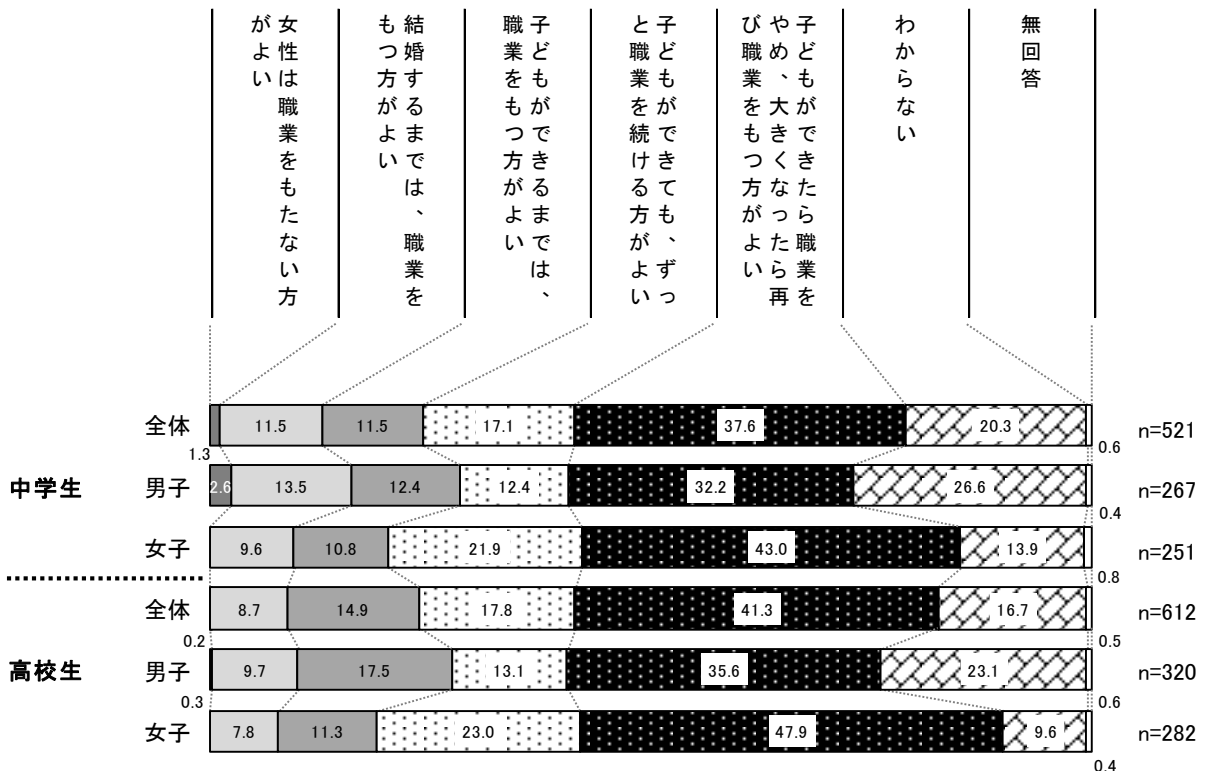
- ◆中学生・高校生ともに「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が最も高い
- ◆前回調査と比べて、中学生・高校生ともに「結婚するまでは、職業をもつ方がよい」が減少し、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が増加

中学生

	平成 28 年9月	平成 22 年9月	平成 18 年9月
女性は職業をもたない方がよい	1.3%	2.0%	2.0%
結婚するまでは、職業をもつ方がよい	11.5%	14.3%	14.8%
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	11.5%	12.3%	12.3%
子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	17.1%	12.6%	12.3%
子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	37.6%	31.2%	31.8%
わからない ※前回調査は「考えたことがない」	20.3%	25.2%	25.6%

高校生

	平成 28 年9月	平成 22 年9月	平成 18 年9月
女性は職業をもたない方がよい	0.2%	0.9%	0.9%
結婚するまでは、職業をもつ方がよい	8.7%	13.8%	12.6%
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	14.9%	13.0%	14.0%
子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	17.8%	15.0%	16.6%
子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	41.3%	35.2%	38.7%
わからない ※前回調査は「考えたことがない」	16.7%	20.9%	16.4%



【中学生】

「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(37.6%)が最も高くなっています。

性別で見ると、女子は「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が男子より約10ポイント高くなっています。

【高校生】

「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」(41.3%)が最も高く、次いで「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」(17.8%)が高くなっています。

性別で見ると、女子は「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい」が男子より約10ポイント高くなっています。

【一般市民との比較】(女性が職業をもつことについて)

中学生・高校生は一般市民と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」の割合が低くなっています。

	(%)		
	中学生	高校生	一般市民
女性は職業をもたない方がよい	1.3	0.2	0.6
結婚するまでは職業をもつ方がよい	11.5	8.7	3.2
子どもができるまでは、職業をもつ方がよい	11.5	14.9	10.3
子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	17.1	17.8	30.8
子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい	37.6	41.3	44.6
わからない	20.3	16.7	—

6-3 リーダーや管理職になることについて

問13 あなたは、将来、仕事においてリーダーや管理職（部長・課長など）になりたいと思いますか。（1つに○印）

◆中学生は『概ねなりたい』（53.3%）が過半数、高校生は『概ねなりたくない』（51.6%）が過半数

中学生

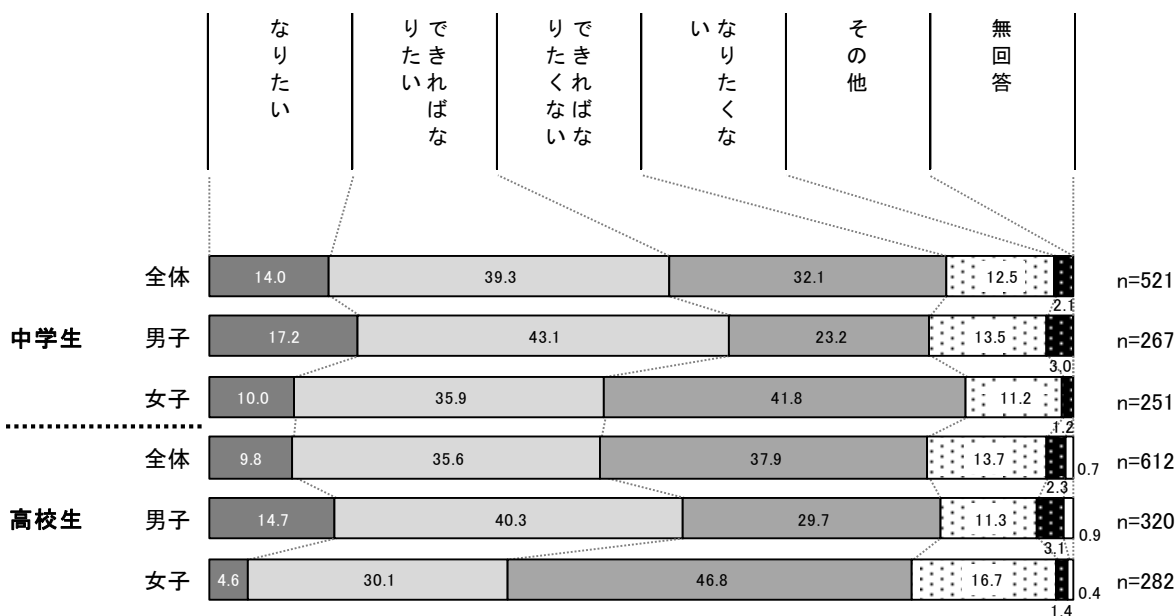
平成 28 年 9 月	
『概ねなりたい』	53.3%
なりたい	14.0%
できればなりたい	39.3%
『概ねなりたくない』	44.6%
できればなりたくない	32.1%
なりたくない	12.5%
その他	2.1%

高校生

平成 28 年 9 月	
『概ねなりたい』	45.4%
なりたい	9.8%
できればなりたい	35.6%
『概ねなりたくない』	51.6%
できればなりたくない	37.9%
なりたくない	13.7%
その他	2.3%

『概ねなりたい』…「なりたい」と「できればなりたい」を合算

『概ねなりたくない』…「なりたくない」と「できればなりたくない」を合算



【中学生】

『概ねなりたい』は53.3%となっており、『概ねなりたくない』(44.6%)より高くなっています。

性別で見ると、男子は『概ねなりたい』(60.3%)が女子(45.9%)より14.4ポイント高く、女子は『概ねなりたくない』(53.0%)が『概ねなりたい』より高くなっています。

【高校生】

『概ねなりたい』は45.4%となっており、『概ねなりたくない』(51.6%)より低くなっています。

性別で見ると、男子は『概ねなりたい』(55.0%)が女子(34.7%)より20.3ポイント高く、女子は『概ねなりたくない』(63.5%)が男子(41.0%)より22.5ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

中学生は『概ねなりたい』(53.3%)が高校生(45.4%)より7.9ポイント高く、特に女子(45.9%)は高校生の女子(34.7%)より11.2ポイント高くなっています。

■「その他」の内訳

中学生

意見(9件)
・ どちらでもよい(5件)
・ その時の自分の能力次第
・ なれるのならやる
・ その他(2件)

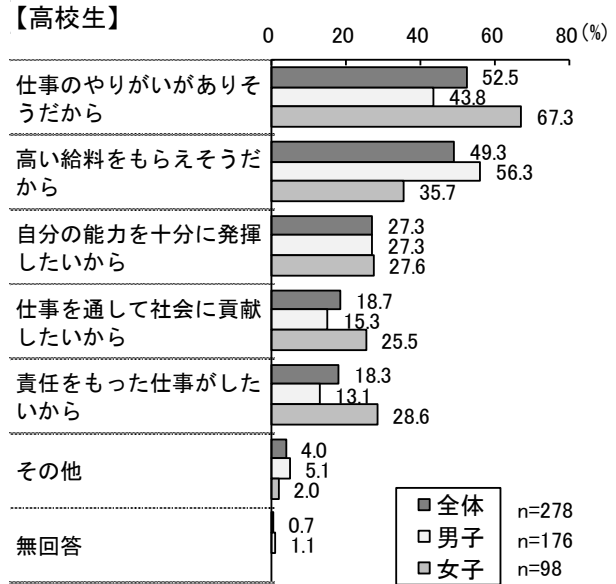
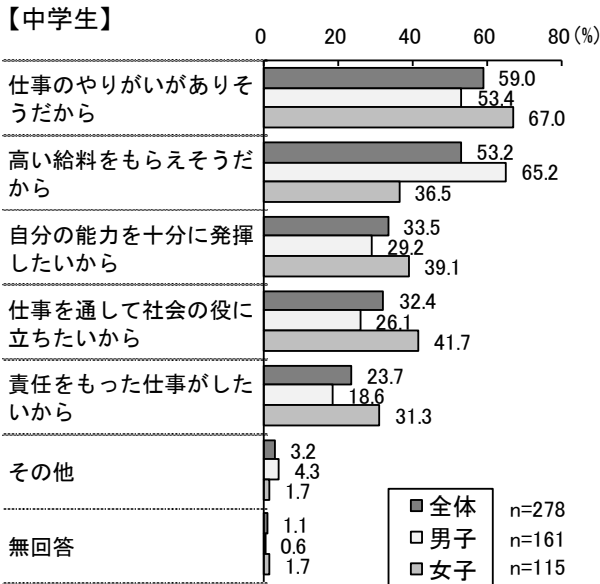
高校生

意見(13件)
・ どちらでもよい(5件)
・ 興味がない(2件)
・ 頼まれればやる(2件)
・ わからない(2件)
・ その他(2件)

問 13 で、「1 なりたい」または「2 できればなりたい」と回答した方におたずねします。

問 13(1) リーダーや管理職になりたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

◆中学生・高校生ともに「仕事のやりがいがありそうだから」、「高い給料をもらえそうだから」、「自分の能力を十分に発揮したいから」が上位



【中学生】

「仕事のやりがいがありそうだから」(59.0%) が最も高く、次いで「高い給料をもらえそうだから」(53.2%)、「自分の能力を十分に発揮したいから」(33.5%) が高くなっています。

性別でみると、男子は「高い給料をもらえそうだから」(65.2%) が女子(36.5%) より 28.7 ポイント高くなっていますが、他の項目についてはすべて女子が男子より概ね 10 ポイント以上高くなっています。

【高校生】

「仕事のやりがいがありそうだから」(52.5%) が最も高く、次いで「高い給料をもらえそうだから」(49.3%)、「自分の能力を十分に発揮したいから」(27.3%) が高くなっています。

性別でみると、男子は「高い給料をもらえそうだから」(56.3%) が女子(35.7%) より 20.6 ポイント高くなっていますが、女子は「仕事のやりがいがありそうだから」(67.3%) が男子(43.8%) より 23.5 ポイント高くなっているほか、「仕事を通して社会に貢献したいから」、「責任をもった仕事がしたいから」も男子より 10 ポイント以上高くなっています。

【中学生・高校生別】

ほとんどすべての項目で中学生が高校生より高くなっていますが、中学生の女子は「仕事のやりがいがありそうだから」(67.0%) が高校生(67.3%) より低くなっています。

■「その他」の内訳

中学生

意見(8件)
・ 自分の意見が通りやすいから
・ 充実しそうだから
・ 長く続けられそうだから
・ チャレンジしてみたいから
・ その他(4件)

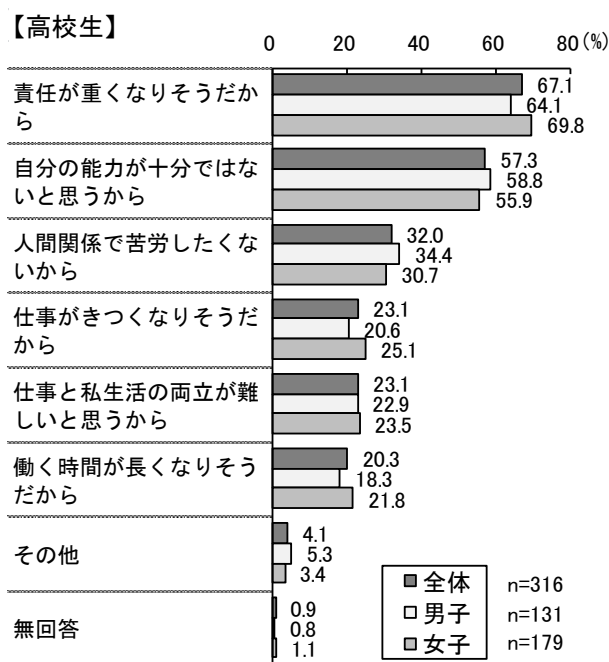
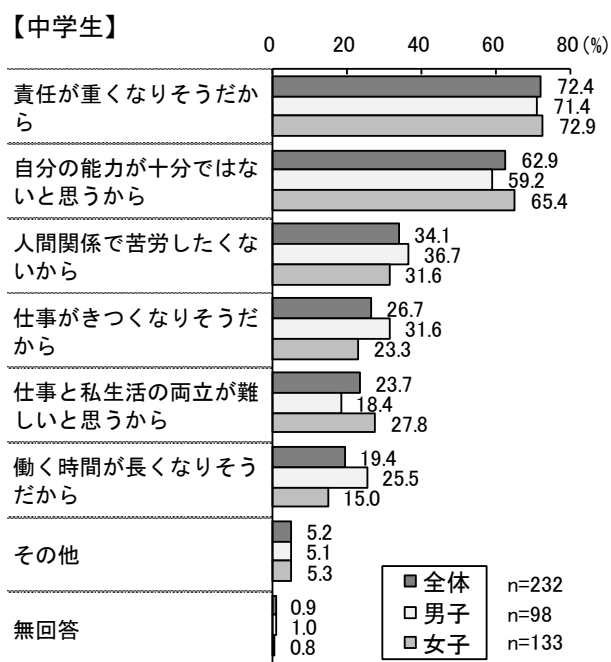
高校生

意見(11件)
・ 人を動かしたいから(2件)
・ 自由に動けそうだから(2件)
・ 自分が認められているという実感がわくから
・ 優越感が得られるから
・ その他(5件)

問 13 で、「3 できればなりたくない」または「4 なりたくない」と回答した方におたずねします。

問 13(2) リーダーや管理職になりたくない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○印)

◆中学生・高校生ともに「責任が重くなりそうだから」、「自分の能力が十分ではないと思うから」、「人間関係で苦勞したくないから」が上位



【中学生】

「責任が重くなりそうだから」(72.4%)が最も高く、次いで「自分の能力が十分ではないと思うから」(62.9%)、「人間関係で苦勞したくないから」(34.1%)が高くなっています。

性別でみると、男子は「働く時間が長くなりそうだから」(25.5%)が女子(15.0%)より10.5ポイント高く、女子は「仕事と私生活の両立が難しいと思うから」(27.8%)が男子(18.4%)より9.4ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

【高校生】

「責任が重くなりそうだから」(67.1%)が最も高く、次いで「自分の能力が十分ではないと思うから」(57.3%)、「人間関係で苦労したくないから」(32.0%)が高くなっています。

性別でみると、女子は「責任が重くなりそうだから」(69.8%)が男子(64.1%)より5.7ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生の女子は「働く時間が長くなりそうだから」(21.8%)が中学生の女子(15.0%)より6.8ポイント高くなっています。

■「その他」の内訳

中学生

意見(12件)
・ 向いていないと思うから(2件)
・ 人をまとめることができないと思うから(2件)
・ 面倒だから
・ 人に指示を出すのが得意ではないから
・ その他(6件)

高校生

意見(11件)
・ 向いていないと思うから(2件)
・ 面倒だから(2件)
・ 仕切るのが苦手だから
・ みんなをまとめられるか不安だから
・ その他(5件)

7 男女の人権について

7-1 交際相手との間の暴力等について

問 14 あなたは、交際している異性との間で①～③（※高校生は①～④）のようなことについてどう思いますか。それぞれ1つずつ選んで、番号に○印をつけてください。

◆中学生・高校生ともに「つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る」は「するべきでない」が約8割

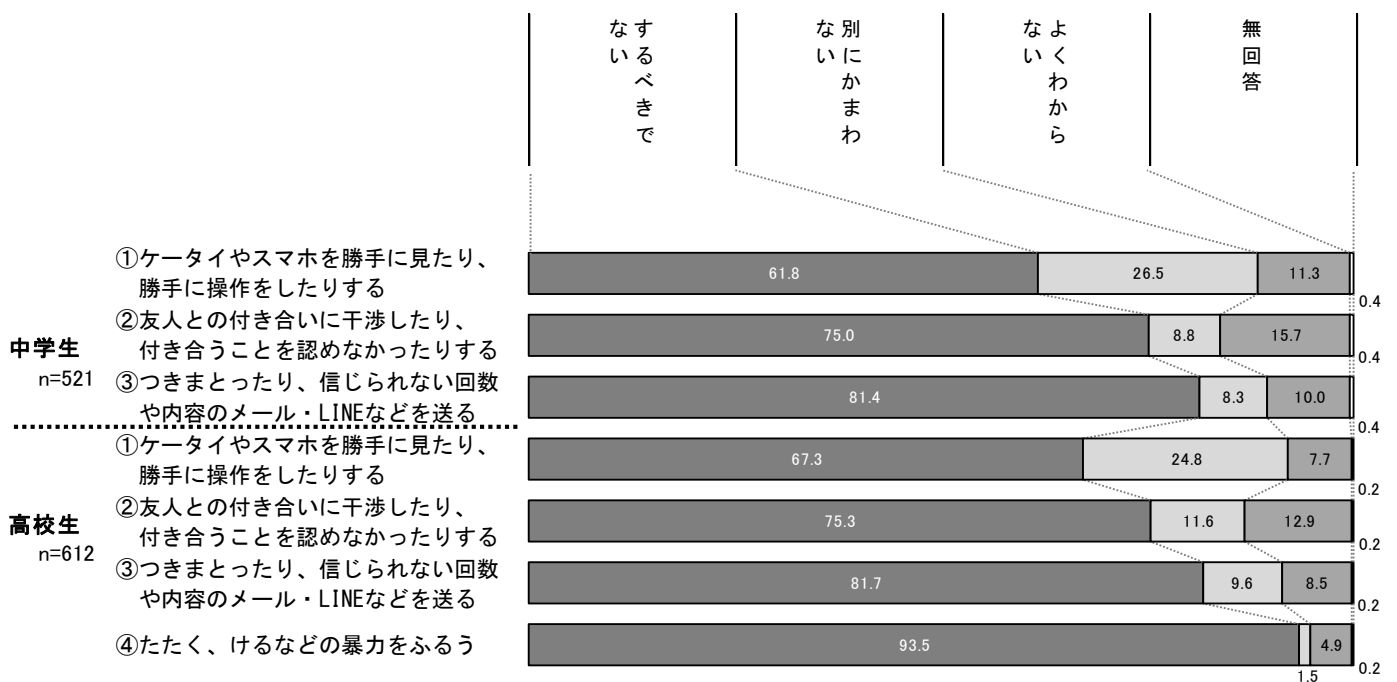
◆高校生は「たたく、けるなどの暴力をふるう」で「するべきでない」が9割以上

中学生

	①ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする	②友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする	③つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る
するべきでない	61.8%	75.0%	81.4%
別にかまわない	26.5%	8.8%	8.3%
よくわからない	11.3%	15.7%	10.0%

高校生

	①ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする	②友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする	③つきまったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る	④たたく、けるなどの暴力をふるう
するべきでない	67.3%	75.3%	81.7%	93.5%
別にかまわない	24.8%	11.6%	9.6%	1.5%
よくわからない	7.7%	12.9%	8.5%	4.9%



Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

【中学生】(①~③)

「すべきでない」は「つきまとったり、信じられない回数や内容のメール・LINEなどを送る」(81.4%)で最も高く、次いで「友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする」(75.0%)で高くなっています。一方、「別にかまわない」は「ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする」で26.5%となっています。

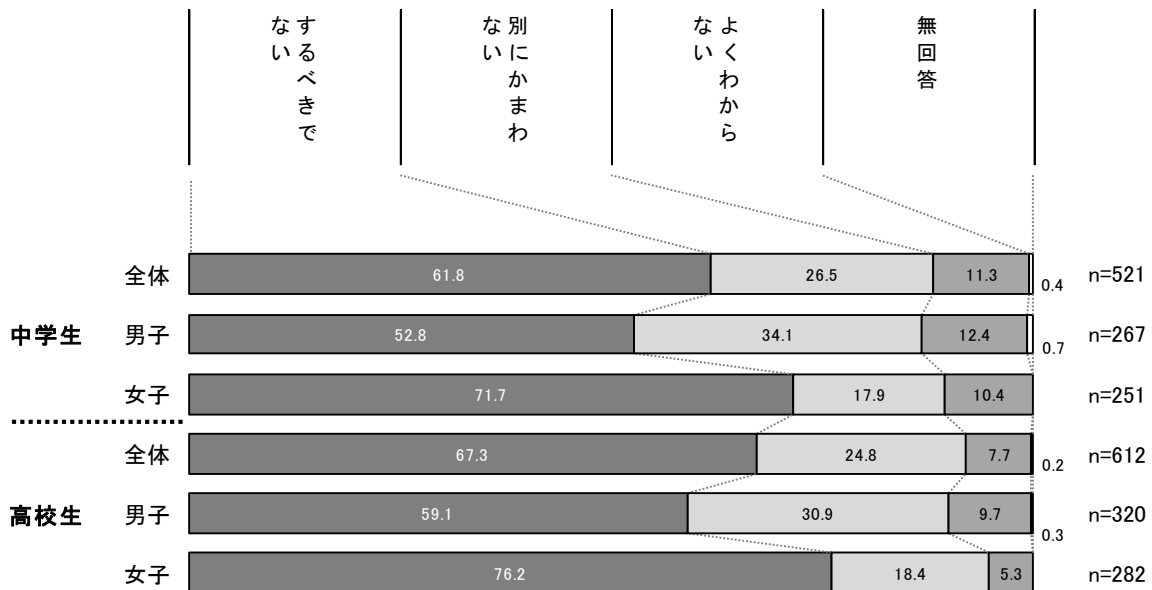
【高校生】(①~④)

「すべきでない」は「たたく、けるなどの暴力をふるう」(93.5%)で90%以上と高く、次いで「つきまとったり、信じられない回数や内容のメール・LINEなどを送る」(81.7%)で高くなっています。一方、「別にかまわない」は「ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする」で24.8%となっています。

<①ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする>

◆「すべきでない」は中学生61.8%、高校生67.3%

「別にかまわない」は中学生26.5%、高校生24.8%



【中学生】

「すべきでない」は61.8%、「別にかまわない」は26.5%となっています。

性別で見ると、女子は「すべきでない」(71.7%)が男子(52.8%)より18.9ポイント高くなっています。

【高校生】

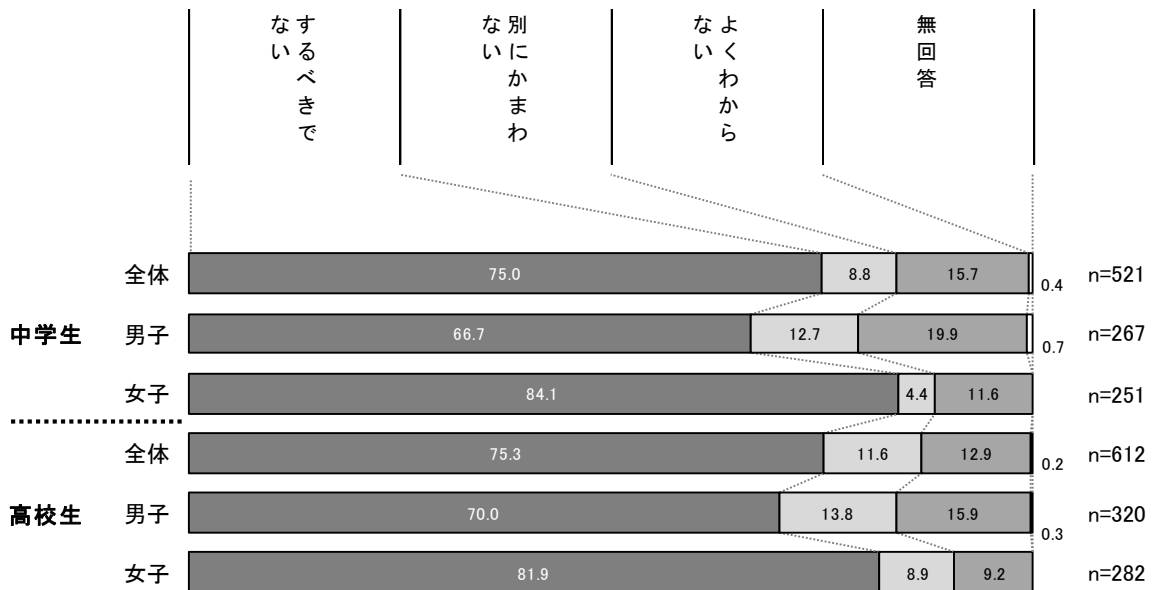
「すべきでない」は67.3%、「別にかまわない」は24.8%となっています。

性別で見ると、女子は「すべきでない」(76.2%)が男子(59.1%)より17.1ポイント高くなっています。

<②友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする>

◆「すべきでない」は中学生 75.0%、高校生 75.3%

「別にかまわない」は中学生 8.8%、高校生 11.6%



【中学生】

「すべきでない」は 75.0%、「別にかまわない」は 8.8%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(84.1%)が男子(66.7%)より 17.4 ポイント高くなっています。

【高校生】

「すべきでない」は 75.3%、「別にかまわない」は 11.6%となっています。

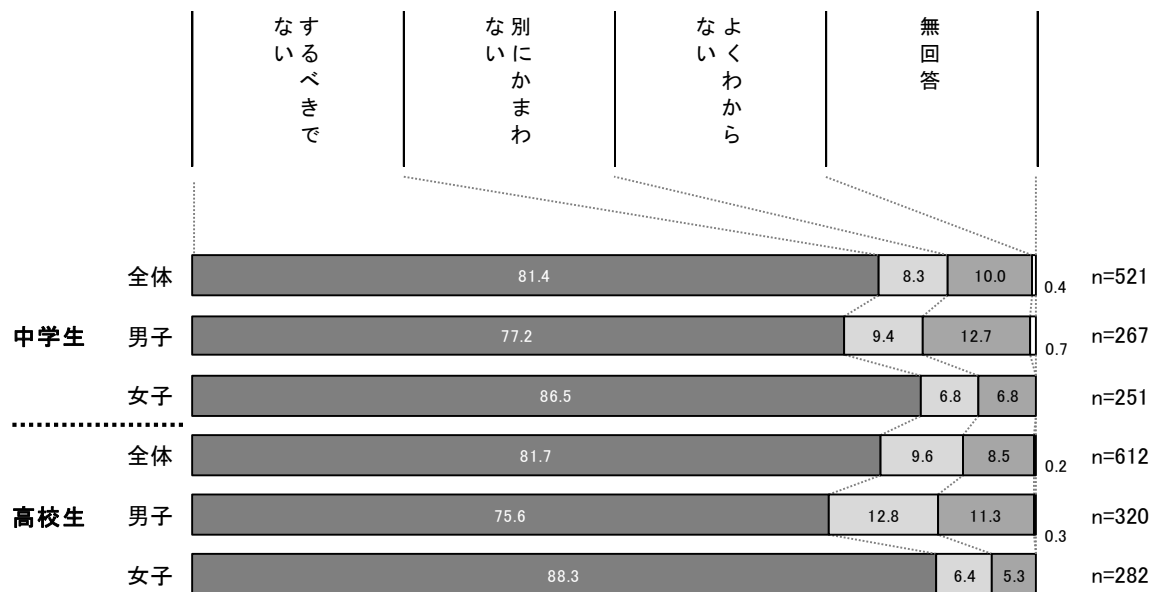
性別でみると、女子は「すべきでない」(81.9%)が男子(70.0%)より 11.9 ポイント高くなっています。

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

<③つきまとったり、信じられない回数や内容のメール・LINE などを送る>

◆「すべきでない」は中学生 81.4%、高校生 81.7%

「別にかまわない」は中学生 8.3%、高校生 9.6%



【中学生】

「すべきでない」は 81.4%、「別にかまわない」は 8.3%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(86.5%)が男子(77.2%)より 9.3 ポイント高くなっています。

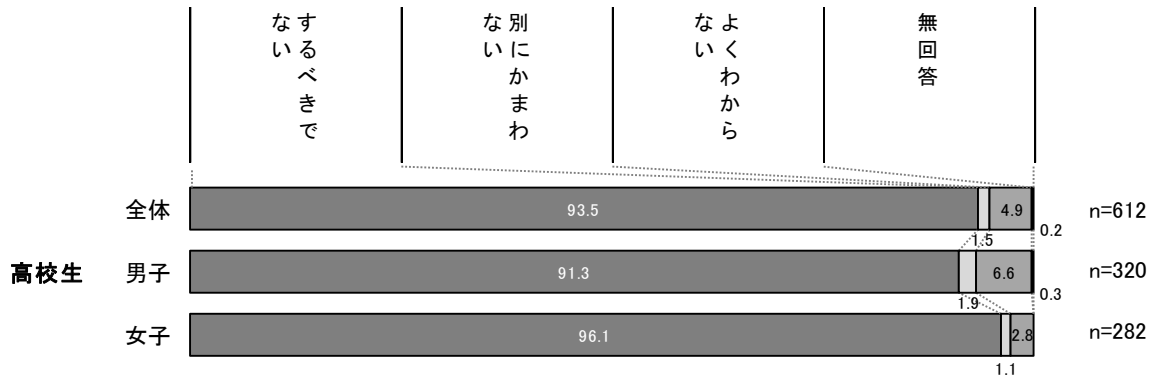
【高校生】

「すべきでない」は 81.7%、「別にかまわない」は 9.6%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(88.3%)が男子(75.6%)より 12.7 ポイント高くなっています。

<④たたく、けるなどの暴力をふるう>

◆（高校生のみ）「すべきでない」は93.5%、「別にかまわない」は1.5%



【高校生】

「すべきでない」は93.5%、「別にかまわない」は1.5%となっています。

性別でみると、女子は「すべきでない」(96.1%)が男子(91.3%)より4.8ポイント高くなっています。

【前回調査との比較】(交際相手との間の暴力等について)

●「すべきでない」の割合

前回調査と比べて、中学生は「ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする」で15.0ポイント減少し、「友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする」で13.8ポイント増加しています。

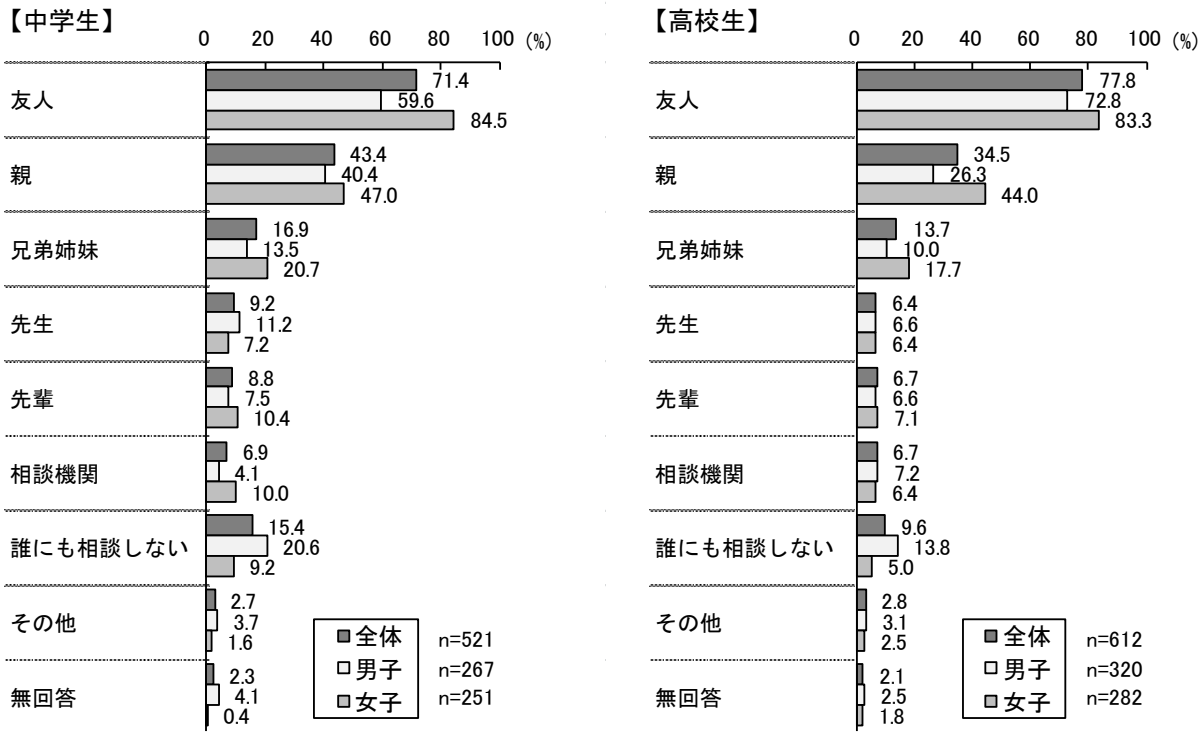
高校生は「ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする」で19.8ポイント減少しています。

		(%)			
		①ケータイやスマホを勝手に見たり、勝手に操作をしたりする	②友人との付き合いに干渉したり、付き合うことを認めなかったりする	③つきまとったり、信じられない回数や内容のメール・LINEなどを送る	④たたく、けるなどの暴力をふるう
中学生	平成28年	61.8	75.0	81.4	—
	平成22年	76.8	61.2	77.1	—
	差	-15.0	13.8	4.3	—
高校生	平成28年	67.3	75.3	81.7	93.5
	平成22年	87.1	69.3	86.1	90.9
	差	-19.8	6.0	-4.4	2.6

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

問 14(1) 問 14 のようなことがあった場合、誰に相談しようと思いますか。(あてはまるものすべてに○印)

◆中学生・高校生ともに「友人」が7割以上で最も高い



【中学生】

「友人」(71.4%) が最も高く、次いで「親」(43.4%)、「兄弟姉妹」(16.9%) が高くなっています。また、「誰にも相談しない」は 15.4% となっています。

性別でみると、女子は「友人」(84.5%) が男子 (59.6%) より 24.9 ポイント高く、男子は「誰にも相談しない」(20.6%) が女子 (9.2%) より 11.4 ポイント高くなっています。

【高校生】

「友人」(77.8%) が最も高く、次いで「親」(34.5%)、「兄弟姉妹」(13.7%) が高くなっています。また、「誰にも相談しない」は 9.6% となっています。

性別でみると、女子は「親」(44.0%) が男子 (26.3%) より 17.7 ポイント高く、「友人」(83.3%) も男子 (72.8%) より 10.5 ポイント高くなっています。男子は「誰にも相談しない」(13.8%) が女子 (5.0%) より 8.8 ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生の男子は「友人」(72.8%) が中学生の男子 (59.6%) より 13.2 ポイント高く、中学生の男子は「親」(40.4%) が高校生の男子 (26.3%) より 14.1 ポイント高くなっています。

■「その他」の内訳

中学生

意見(11件)
・ 相手(本人)(4件)
・ インターネット(2件)
・ 警察
・ いとこ
・ その他(3件)

高校生

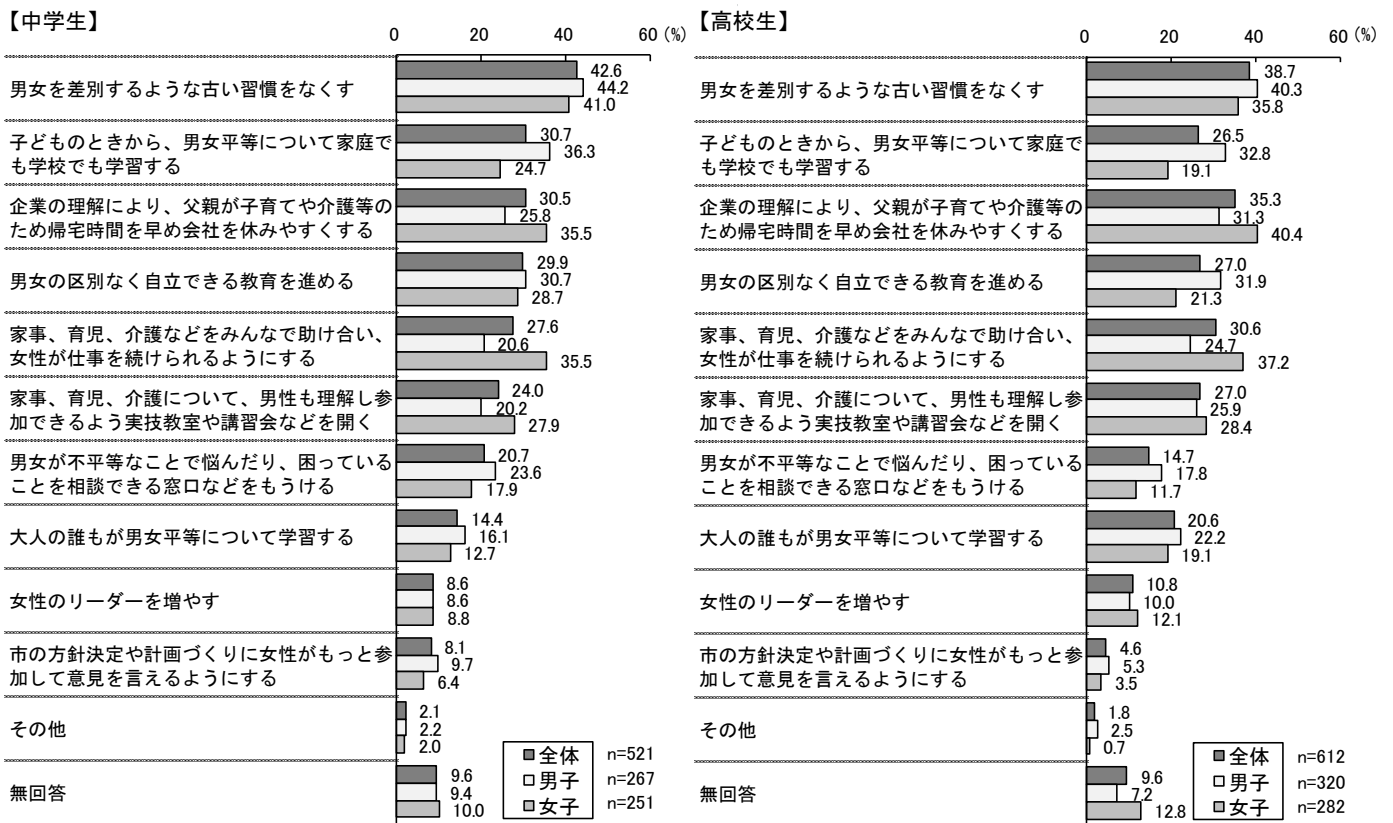
意見(13件)
・ 警察(5件)
・ 知らない人(インターネット上の、等)(2件)
・ 後輩(2件)
・ SNSやインターネット上の知り合い(2件)
・ 相手(本人)(2件)

8 市の男女共同参画の取り組みについて

8-1 男女共同参画社会の実現のために市が力を入れていくべきこと

問15 春日井市では、女だから男だからと決めつけしないで、誰もがその人らしく個性や能力を發揮することができる「男女共同参画社会」の実現を目指しています。
 これから、どのようなことに力を入れて取り組むといいと思いますか。(あてはまるもの3つまでに○印)

◆中学生・高校生ともに「男女を差別するような古い習慣をなくす」が約4割で最も高い



【中学生】

「男女を差別するような古い習慣をなくす」(42.6%)が最も高く、次いで「子どものときから、男女平等について家庭でも学校でも学習する」(30.7%)、「企業の理解により、父親が子育てや介護等のため帰宅時間を早め会社を休みやすくする」(30.5%)が高くなっています。

性別で見ると、男子は「子どものときから、男女平等について家庭でも学校でも学習する」(36.3%)が女子(24.7%)より11.6ポイント高く、女子は「家事、育児、介護などをみんなで助け合い、女性が仕事を続けられるようにする」(35.5%)が男子(20.6%)より14.9ポイント高くなっています。

【高校生】

「男女を差別するような古い習慣をなくす」(38.7%)が最も高く、次いで「企業の理解により、父親が子育てや介護等のため帰宅時間を早め会社を休みやすくする」(35.3%)、「家事、育児、介護などをみんなで助け合い、女性が仕事を続けられるようにする」(30.6%)が高くなっています。

性別で見ると、男子は「子どものときから、男女平等について家庭でも学校でも学習する」(32.8%)が女子(19.1%)より13.7ポイント高く、女子は「家事、育児、介護などをみんなで助け合い、女性が仕事を続けられるようにする」(37.2%)が男子(24.7%)より12.5ポイント高くなっています。

【中学生・高校生別】

高校生は「大人の誰もが男女平等について学習する」(20.6%)が中学生(14.4%)より6.2ポイント高くなっています。

■「その他」の内訳

中学生

意見(6件)
・ 大人がしっかり男女平等を行動で示す。
・ 育児や家事を女性がすることが当たり前であることをなくす。
・ 子どもに人のことをちゃんと考えるよう教育する。
・ わからない。
・ その他(2件)

高校生

意見(5件)
・ 男性への育休手当支給を条例化する。
・ レディースデイや女性専用車両をなくす。
・ わからない。
・ 興味がない。
・ その他

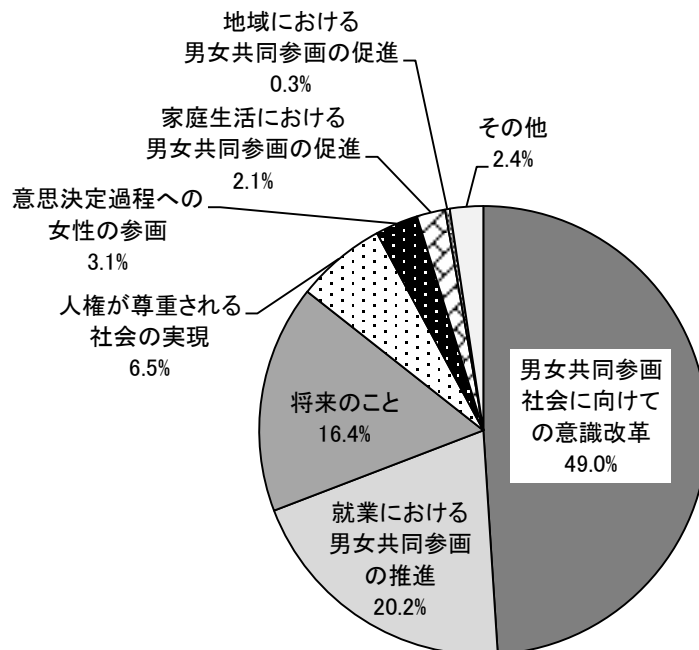
9 自由意見

問 16 男女共同参画に関連して、あなたの身近なこと、将来のことなど自由に書いてください。

男女共同参画に関連して、身近なことなどについて、中学生・高校生の皆さんの自由な意見を書いていただきました。意見の内容を大別すると次表のとおりです。以下、その意見の一部を掲載しています。

意見等の区分(中学生)

区分	件数	比率
男女共同参画社会に向けての意識改革	143	49.0%
就業における男女共同参画の推進	59	20.2%
将来のこと	48	16.4%
人権が尊重される社会の実現	19	6.5%
意思決定過程への女性の参画	9	3.1%
家庭生活における男女共同参画の促進	6	2.1%
地域における男女共同参画の促進	1	0.3%
その他	7	2.4%



I 男女共同参画社会に向けての意識改革

意見内容	性別
男女平等とか言っておきながら女性に有利になりすぎていると思う。男は働き女は家庭を守るというのが、僕の日本人のあり方だと思う。	男子
「女だから」や「女なのに」といった批評をたくさん聞くので、それが無くなるように一人の人間として男女関係なく見てもらえるようにしたいです。	女子
女子力高めの男子がいてもいいと思う。	女子
男だからとか女だからとか言っている年離れた人に、男女平等について学習してほしい。	男子
将来は男女平等な世の中になってほしいと思う。	男子
男なんだから体力つけるとかそういうのが嫌。	男子
差別などせず男女平等の社会を作っていくということがとても大切だということが分かりました。自分も関係ないとは思わず、男女平等について学習していくことが大切だと思いました。	女子
学校では、やはり男子の方が権力が高いので、女子が意見を言えない時もある。	女子
僕のまわりの大人はたいいてい男は働き女は家事のような感じなので、共働きというのもいいと思います。	男子
男女を差別をするようなことは、すべてがすべて悪いことではないと思う。個々の能力値の違いもあるが、やはり男でも女でもやれることに限界はある。だから互いの欠点を補えるような社会が男女差別のない社会だと言えると思う。	女子
将来はもっと平等になり、職業や生活でも男女で見方を変えるなどということがないようになってほしい。	女子
「リケジョ」や「～女子」という言葉は女性差別だと思う。	女子
男女の差別はなくすべきだと思う。男性は女性の事をもっと理解すべきだと思う。	男子
男女が平等であることはよいと思います。自分達の将来の道が広がることはよいことだと思います。	男子
中学でも、男子がしたら怒られることが女子が同じことをしても怒られない、ということがたくさんあるから、まずはそういう小さいことから改善していくべきだと思いました。	男子
身の回りだと、男の人が重い荷物を持ったり、都合よく「レディーファーストだから」を使ったりするのは、やめた方がいいと思います。男女ともに平等で仲がより深まることを望んでいます。	女子
小・中学校の中で、先生がいつも注意をするのが、男子でも女子でも同じようにしている時もあるのにその時は注意しない、というところを直してほしい。「女子は弱く、男子なら大丈夫」というのをなくしてほしい。また未来の社会では「女性だから」というのがないような社会であってほしい。	女子
男女差別はあって当然のことだと思う。なぜなら体のつくりも違えば、考えや生活習慣にも影響が出てくるし、得意なことなどにも様々な違いが生まれてくるからだ。何でも「平等に」などと言っても無理だと思う。なので無理に男女平等をこじつける必要性はないと思う。	女子
男だから女だからではなく、男でも女でもできることは助け合いながら生活していける社会になってほしいです。	女子
自分が大人になって職に就く頃には、女性リーダーが増え、男性も家事をするという社会になっていけばいいなと思います。	女子
女だから女っぽくしたり、男だから男らしくないといけなような感じは苦手なので、そういうのをなくすようにする。	女子
男女の差別によって、やりたいことがやれない・やりたくないことをやらされるのは良くないことと思いました。その人がやりたいことをやれるようにしてもらえると良いと思いました。	女子
女の方は男の人より力が少し弱く、気配りが必要なので、レディーファーストを優先して行すべきだ。だからといって、女の方はレディーファーストを武器として利用しない。力仕事は男の人が先に行うが、女の方も最低限の仕事はこなした方がよい。	男子
学校等、差別はとてもしっかりあります。自分は女だけど、男の人が良い事ばかりあったり、女が良い事があったりします。差別はとてめんどくさいです。私は将来の夢を叶えるために、差別をされたくないです。	女子
「女の子らしくない」といって小さい頃から言われてきたけど、それは差別なのかな。	女子

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

意見内容	性別
男女関係なく、お互いの気持ちや考えを理解することが大切だと思います。相手が出来ないところはお互いに補い合ったり、手助けしたりするのが私たちに必要な一歩だと思います。	女子
これは男・これは女などと考えることが多いから、直していくべき。問 15 は 3 つでは足りないほどある。1・5・9 の他にも 3・4・6・8・10 など必要になってくると思う。	女子
カラオケ店などでの女性半額などのサービスは、男性からしては少し不満に思う。	男子
女子だから頭が良いとか器用とか、そういうのはやめてほしい。	女子
今、私たち中学生から見ても、男女平等の社会とは少し違うように見えるので、男女共同参画の取り組みが出来るだけ早く社会になじんでくると良いと思う。	女子
私は男だからとか女だからと決めつけるのは反対です。でも、男にしかできない事、女にしかできない事があるはずです。それを生かしながら、男女共同参画を進めていくべきだと思います。	女子

Ⅱ 就業における男女共同参画の推進

意見内容	性別
将来子どもがいて、仕事がしたいのにできない、ということをなくしてほしい。	女子
将来医者になりたいけど、男性の方が優先している気がする。	女子
働いている人は男性の方が圧倒的に多い。でも働くのは男性でいいと思う。	男子
私は将来の夢がある。人の役に立つ仕事をしたい。でも、男女差別が夢をせめめることは許せないの、女性でも子どもができたりしても、仕事が続けたり出世できたりする工夫をしてほしい。	女子
今は、男性初の〇〇・女性初の〇〇が誕生したという情報をよく聞くので、昔からのこの職業は男性もしくは女性の仕事だという感じが徐々になくなっているのかなと思います。私たちが大人になる頃には、男女の差別なく自由な職業に就けるようになってほしいです。	女子
お母さんは私を産んでからもう一度職場に復帰して働いていたので、それが普通だと思っていたのですが、それには偏見もあって中々肩身の狭い思いをする女性もいることを最近知りました。	女子
力仕事は男がやる、細かい作業は女がやるというのは差別かもしれないけど、しょうがないことなのかなと思います。仕事などもっと大きなことでの差別をなくすことが大切だと思います。	女子
将来は仕事や好きなことなどで男女が平等になっているといいと思う。	男子
自分は結婚してからも子どもが産まれてからも仕事がしたいと思うので、一度やめてからもまたその仕事に戻りやすい社会にしてほしい。	女子
私のお母さんの友だちが上司に「だから女はだめなんだ」や「女は家で家事をやっとけ」などと言われたそうです。だからそれについて、みんな仕事をしたい人はやればいいのかと思うし、女・女と見下すことはやめた方がいいと思います。	女子
私は将来は専門職を持ってずっとその仕事を続けたいので、結婚や子どもができたら仕事をやめるという事はイヤだと思うけど、今はあまり男女差別の意識はなくなってきたと思う。	女子
女性が産休後、元の職場で働けないことが多かったので、仕事に復帰できるようになるともっと働きやすくなると思います。	女子
社会的に男性の方が良い仕事につきやすいところに疑問を持ちます。それと、女性も育児をしながら仕事を続けられるよう、男性と協力しあうべきだと思います。	女子
将来家庭を持ったら、自分も仕事が続けられるように家族で協力できるようにしたい。	女子
男女関係なく自分がやりたい仕事につければいいと思う。	女子
今は子どもができたらく仕事をやめて、また違う仕事を探すのが大変で元の職場に戻れないことが多い社会だから、とても女性の人が大変だと思う。幼児だと保育園が少なくなって子どもが預けられなくて仕事に復帰できないことが多い。女の人だっとなりたい職業だっただけあるから、市全体で助け合った方がいいと思いました。	女子

意見内容	性別
男だから育児休暇をとって休んじやいけないというのをよく耳にします。こういう男女の差別をなくすべきだと思います。なくすためには、気軽に休める会社などに就きたいと思います。	女子
私は、あんまり将来のことを考えていなかったけど、こうやってアンケートをして興味を持ち始めました。子どもがいても仕事を続けて両立出来るように、男女平等になるように、今から生活を変えたいと思いました。	女子
私の家は父があまり家にいないので、休みを増やしたりできるととてもいいと思います。	女子
両親が2人とも働いているから、働くのは男女が一緒に働けばいいと思う。	男子
私が大人になった時に「女だから」とか仕事で言われたくないし、正直早くこういうのが無くなってほしいと思います。	女子
男女がどちらもつける仕事を増やし、平等にしてほしい。	男子
女の人が妊娠した時に休める制度を男の人も気軽にできるようにする。	女子
人に合った仕事等を活かせるように、仕事を選べるようにしたい。	女子
「男だからリーダーだ」「女だから部下だ」でなくて、能力があつてふさわしい人が偉い管理職になれば良いのかなと思いました。	女子
問 12 の質問は 4 も 5 も両方良いと思います。生活が苦しく働かなければならない人もいるし、生活が安定していて子どものそばにいられる人もいます。家の事情は人それぞれで、考え方も男女問わず皆違います。なので女性が働いていても、男性が家事をしていても、またその逆でもそのことについて反対されたり意見を言われたりするのとは違うと思います。	女子
まだ女の人が少し働きにくい世の中だと思うので、将来はもっと働きやすい世の中になってほしい。	女子
男性教師が結婚していて、子どもが生まれる日に野外学習や修学旅行などあった場合は、家庭を優先して考えるべきだと思う。	女子
女でも子どもが産まれても仕事に就きたいと思っています。子どもが大きくなったら男女ともに協力して教育できるような社会をつくっていけたら、もっともっと良いと思いました。	女子

Ⅲ 将来のこと

意見内容	性別
ぼくも将来、家事や育児などをしたいと思います。	男子
私は将来保育士になりたいと思っています。保育士は「女性」という感じがあるけど、「男性」がなってもおかしくないと思います。	女子
今回の共同参画に関連して、平等性・将来の事について改めて見つめなおすことができました。このことを、今後の生活や学校での時間に生かせるようにしたいと思います。	男子
私は結婚しても働きたいと思っています。しかし、子どもにさみしい思いはさせたくないの、子どもも自分もいい思いのできるようにしたいです。	女子
しっかりとした仕事に就職できるか心配。	男子
将来自分のやりたい事が出来るようになりたい。	男子

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

Ⅳ 人権が尊重される社会の実現

意見内容	性別
差別をなくして人権を大切にするような未来になってほしいと思いました。	女子
将来は、男女平等ではなく国民のすべてを平等にしてほしい。ホームレスの人などがいる事について、国民の平等ではないと思います。なので、全国民が平等に安全で不便ではない暮らしにしてあげると、日本として平等になれるのではと思いました。	男子
父が「跡継ぎ」というものにこだわり、男尊女卑をする。	女子
将来的に、男が女に手をあげるのをやめさせた方がいい。	男子
子どもへの教育は親がしっかりしない限り、不良やいじめ・学校へ来ない子どもは減らないと思いました。学校ではもっと他人の事を考える、先を見通して行動するなどの教育をもっとした方が良いと思いました。	女子
男女差別があると、いじめも増えると思う。学年内での上下関係や主従関係をなくしてほしい。大人内でも男女平等じゃない気もする。	女子

Ⅴ 意思決定過程への女性の参画

意見内容	性別
東京都知事に小池さんが就任されたり、女性が活躍する社会に少しずつなると思います。	男子
ドラマなどでは課長などをしている人はほとんど男性。	男子
将来は会社の社長などが男性だけでなく、女性ももっと増えた方がいいと思います。男性だけだと男性中心の社会になってしまうので、女性の意見もしっかりと取り込まれた方がよりよい社会になると思います。	女子
政治に女性ももっと参加できるようにする(関心を持たせる)。	女子
女性がリーダーになること・上に立つことにまだ反対という考えを持つ人がいて、都知事でも女性になる事に反対だという意見をニュースなどで聞いて、なぜ男は良くて女はダメなのか、なぜ差別をするのかおかしいと思いました。そういう考えや意見はこれから無くしていくべきだと思います。	女子

Ⅵ 家庭生活における男女共同参画の促進

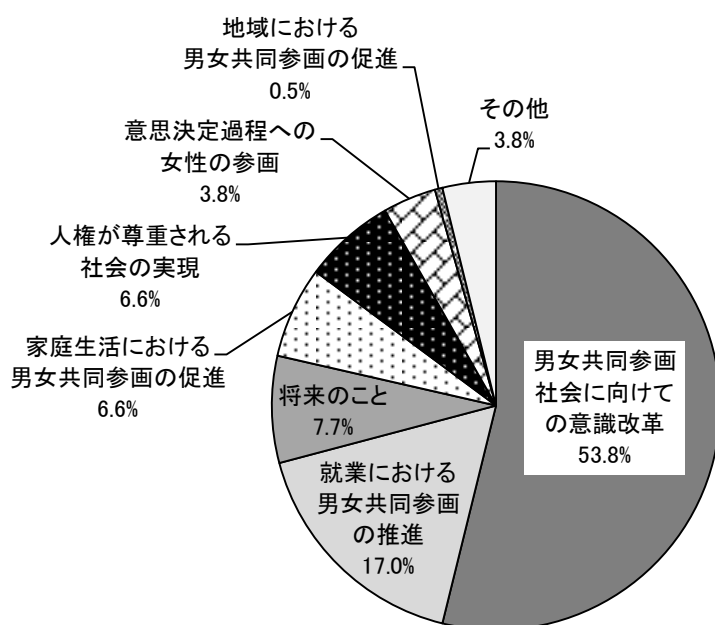
意見内容	性別
家庭のなかでも男性も家事をして、女性と家事を分担していけるといいなと思います。	女子
母の家事の手伝いをするのは当たり前なのだろうが、私には「女の子だから」と言って手伝わせ、兄や弟には何も言わずに何も手伝わせないことがある。男も家事は手伝うべきだと思う。	女子
もちろん男女平等は大切ですが、多少の習慣はあってもいいと思っています。「力仕事」や「家事の分担」などは今までのままでも基本良いですが、男性も家事などを出来るようにした方がいいとは思っています。僕自身も料理や家事を出来るように積極的に親の手伝いをし、学んでいきたいです。	男子
男女差別ない将来が良い。家事などを男性も女性も一緒にやった方が良くと思いました。	男子

Ⅶ 地域における男女共同参画の促進

意見内容	性別
住みよい地域にするために、夜は暗い道があったら明るくしたり、いつも周りに助けてくれる大人がいるといいと思います。育児や介護では一人で考え込んでしまうことが多いと思うので、周りの人たちで助け合ったり、個々の意見を尊重すべきだと思います。	女子

意見等の区分(高校生)

区分	件数	比率
男女共同参画社会に向けての意識改革	98	53.8%
就業における男女共同参画の推進	31	17.0%
将来のこと	14	7.7%
家庭生活における男女共同参画の促進	12	6.6%
人権が尊重される社会の実現	12	6.6%
意思決定過程への女性の参画	7	3.8%
地域における男女共同参画の促進	1	0.5%
その他	7	3.8%



Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

I 男女共同参画社会に向けての意識改革

意見内容	性別
家庭を持って男性が育児をしたり、女性が働いたりできやすくなることもいいと思います。	女子
男女の差別をなくして、平等な社会になればいいと思う。	女子
男女関係なく個性や能力を發揮できる街にする。	女子
男女平等は良いと思うが、明らかに男の方が向いている・女の方が向いているものに関しては、平等にしないのが良い。	男子
将来家族が出来た時に、男だからとか女だからとかがあまりないような家庭をつくりたい。仕事でも同じで、あの子だけ、みたいなことは無いような社会にしてほしい。	女子
電車の女性専用車両はとても良い事だと思います。その車両だと安心して乗ることが出来るので、もう少し増やしてもいいかと思います。また、男性も女性の臭いがいやな人などのために、男性専用車両なども良いと思います。	女子
学校でも男女平等にする。	女子
今は昔とは違うということ、頑固な年寄りたちが理解するとよい。春日井が好きなのでより良くなるとうれしいです。	男子
もっと男女平等を幅広い世代に理解してもらおう。	女子
私たちが大人になっても男女平等に生活できるように、今のうちに学習しておきたいです。	女子
男性の目線からも、女性の目線からも様々な意見があると思いますが、それぞれの意見を聞きながら、お互いの妥協点を見つけて何かにつなげていけたらいいんじゃないかなと思います。	女子
レディーファーストはいいけれど、女子だからってやらせてもらえないことがあるのは嫌だ。	女子
「女性専用〇〇」が増えてきて女性が優遇されているなど感じることもあるけど、やっぱりそれは平等じゃないとかそういうことじゃなくて女性の方が今まで被害にあうことがたくさんあったからだと思うと、いろいろ難しいと思う。	女子
以前、ある情報メディアより「男性がトイレのすみで赤ちゃんのおムツを換えていた。男性用のトイレには、そういったスペースがないのだ」というのをみて、こういった育児をしている男性もいるのに環境・設備が整っていないのは悲しいと思いました。ぜひ、身近な所から整備して欲しいです。	女子
制服で、女子でもスカートじゃなくてズボンの方がいいって思う人もいると思う。女子＝スカートとか男子＝ズボンとかはあまり好きじゃないです。	女子
男女区別は、男子と女子の時点で仕方ないことだと思うから、区別がある中で男子も女子もその能力を生かせるような政策をしていくべきだと思う。	女子
友人だけでなく、兄妹でも「男だから」云々と言われるので、親も注意した方がいいかなと思いました。	男子
人それぞれ違う能力を持っているので、男や女ということで決めつけるのは良くないと思う。	男子
女性が弱いからって暴力をふるう男性は女性のことを何にも思っていないと思う。もっと女性の事を立場を考えてほしい。	男子
男は髪が短くて、女は長いというなどの風潮が学校にある。考え方が古い気がする。	男子
映画などで女性だけの割引がよくみられる。	男子
女性がまだまだ活躍できる場があると思う。女性は優先になりすぎないことも大変だと思う。	女子
お互いが何でも言い合える社会にしていけばいいと思います。	男子
男女平等とはいったが、男性と女性の仕事や家での立場を同じにしたからといって平等にはならないと思う。男性も女性も互いの違う部分を理解しあい、尊敬し敬意を払いあってこそ平等といえると思う。	男子
平等は大事。10年後にはもっと平等で暮らしやすい生活ができると思う。	男子
古い習慣をなくすことが、男女共同参画において一番大切なことだと思う。	男子
クラスによって男女でよく話すクラスと話さないクラスがある気がする。	男子
今現在、女性が社会にたくさん進出してきている世の中には賛成です。	男子

性別にとらわれることなく、自由に生きられる社会にしていくべきだと思う。	女子
意見内容	性別
どうにもこの男女共同参画という物は、男に女のつらさを教え女に男のような活躍の場を与えるもののように思えてしまいます。実際は違うのですが、男だから・女だからと制限せず男の良い点・女の良い点、性別としての適性を固定観念無しで考えるべきだと思います。男と女が同じ能力を持っているわけではないので、男にできて女にできない事はある。逆もまた然りです。	女子
完全な平等を目指すというのは難しいと思う。が、みんなが協力し意識し合えば実現できると思う。	男子
今は男女平等共同参画を目指して、女性のために様々な取り組みがあるけど、女性にばかり優遇する社会にはなってほしくないです。	女子
テレビでは同じようなことばかり放送されてるけど、もっと多くの考え方を持つ女性はいるので、そこにも注目すべきだと思う。	女子
スポーツのプロ団体が男に多いのに対して、女子スポーツは余り活発ではないので、女子スポーツも強化する。	男子

Ⅱ 就業における男女共同参画の推進

意見内容	性別
女性が働かなくても良いような社会を作り、男性は外で働くようにしていけば良いと思う。	男子
笑顔で働ければそれでいい。	女子
男女で給料を変えたりしない。女性だからって仕事をさせないなどは良くないと思う。	女子
給料を一定にする。	女子
将来男女平等に仕事に就けるようにしてほしい。	女子
今は共働きをしないと家計が厳しい時代だから、もっと女性に目を向けて保育とかを充実させたり、男性も子育てに参加できるよう各会社で取り組む必要があると思う。	女子
自分が将来子どもを産んでからでも、仕事が続けられるような環境になってほしいと思います。「女だから」とか「男だから」という言葉が無くなっていけばと思います。	女子
将来職に就いてから、男と女がどちらも気兼ねなく話せたり、関わられるようになりたい。	男子
企業の男女の割合を見ていると、多くが男性が大半を占めていることがわかる。	男子
産休を取りやすくしたり産休明けの仕事を確約するなど、もう少し女性が社会参加しやすい世の中にするべき。	男子
将来は異性と協力して、平等に働ける職で働きたい。	男子
こういう事には特に詳しいわけではないが、「男女平等」とうたうにあたって、例えば「男性が育休を取っていないから女性も取らない」という方向でなく、「女性が育休を取るのだから男性にも育休を取らせよう」みたいな方向に進んでいけば良いなと思っている。	女子
世の中では、男女平等と法律では定まっているけど、実際にはやはりまだ育児休暇などが取りにくかったりなど、まだまだ機能されていないところもあるので、このアンケートを機に少しでも社会がよくなっていくと良いなと思います。	女子
今の社会では、女性の給料が安いのもっと上げるべきだと思う。	男子
今では、女性が仕事をしやすくなっていて、あまり男女差別を感じる事が少なくなってきていると私は思います。結婚しても仕事は続けたいので、夫となる人の支えがとても必要だと思います。	女子
女だけずっと仕事は続けたい。	女子
将来は男女が共同に生活できる空間で働いていたいなと思いました。	男子
その社会を実現するためには、やはり企業の意識を変えることが大切だと、いろいろな話を聞き、そう思いました。産休などで長く休みを取った後のその人の扱い等やはりここにももう少し気にかけていくべきだと思います。	男子
将来自分も職を持ちたいと思うので、就職の際に男女で差別されない社会が良いです。	女子

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

男女関係なく、子ども有る無し関係なく、すべての大人が安心して働けるように企業と市や県、国が協力すべきである。旧来の考え方がどうこうではなく、今の考え方として全体に広めていく必要がある。

男子

Ⅲ 将来のこと

意見内容	性別
将来は温かい家庭を作り子どもができて幸せな人生を送りたいけど、女性だけが家事をやるんじゃなくて働きたい。	女子
楽しく暮らせるといいです。	女子
将来の夢を叶えるためにがんばる。	女子
長く続けられる仕事がしたい。	男子
お互いを尊重しあい、幸せな家庭を築く。	男子
将来家庭を持つときは、自分も家事に取り組みたい。	男子

Ⅳ 家庭生活における男女共同参画の促進

意見内容	性別
共働きで女性だけが家事をやるのは不平等だと思う。男性はなににかしら手伝うべきだと思う。	女子
子どもの育児に男性も参加するべきだと思う。	男子
男性にも育児とかを積極的にやってくれたら、もっと良くなると思う。	女子
結婚して夫婦で助け合って子どもを育てたいです。	女子
待機児童問題の特集とかをテレビで見るとき、男性が取材されているのを見たことがない。子育ては女がするものだって決めつけている証拠だと思う。	女子
女性だけではなく、男性も家事などをしていい時間や環境を与えること。	男子

Ⅴ 人権が尊重される社会の実現

意見内容	性別
差別なくみんなが幸せに暮らせる町になればいいなと思います。	女子
学習する・させるというより、周りが差別のあるような行動を一切しなければ、そういう雰囲気になると思う。子どももそのように育つと思う。	女子
みんなが平等に過ごせるような社会になってほしい。	男子
男女差別についてはあまり考えることは無いが、生まれた月などで待遇が違うというのは平等とは考えにくい。また「レディーファースト」などの考え方は持っていないともいいと思う。みんながすごしやすい世の中になれば良いと思う。	女子

Ⅵ 意思決定過程への女性の参画

意見内容	性別
将来、もし就職したとき、上の立場の人が男ばかりだと女性が産休とかでも何で、ってなるので、女性も少しは上に立つ人がいたほうが良いと思います。	女子
仕事で男性リーダーが多いから女性のリーダーもいれたいと思う。	男子
女性の管理職を増やすべきだと思う。	男子
部長などの職業は、そういえば男の人のイメージが強いと思った。	女子
今、内閣では女性の人が多いけど、何かしらの問題が起きているので対策をした方が良い。	男子

Ⅶ 地域における男女共同参画の促進

意見内容	性別
------	----

Ⅲ 調査の結果【中学生・高校生】

地方ではいまだに男尊女卑の風潮が残っているので、男女共同参画社会の実現をするのは難しいと思う。

男子

